

平成23年度 垂水市市民満足度調査 結果報告書

平成23年10月
垂水市

はじめに

平成21年度に引き続き、平成23年度垂水市市民満足度調査を行いましたところ、多くの皆様のご協力を頂き、結果報告書を取りまとめることができました。

調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

さて、平成20年に市政運営の指針となる第4次垂水市総合計画が策定され、市政運営におきましても、地方自治を取り巻く環境が大きく変わり、市民の視点に立った行政経営が求められているところでございます。

この「市民満足度調査」もそういった視点から第4次垂水市総合計画に定められた27の政策の「重要度」と「満足度」を皆様にお聞きし、全体として市民ニーズがどこにあるかを見極めるために行ったものです。

今回の調査結果により、限られた財源を更に効果的かつ効率的に配分するために、また、27の政策がより充実し、市民の皆様の満足度が向上するよう活用に努めていきたいと考えております。

今後とも市政運営に対しまして、ご意見ご要望をいただければ幸いに存じます。

垂水市長 尾脇 雅弥

目 次

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の内容	4
4. 調査結果の公表	4
II 調査結果	5
1. 回答者の属性分析	6
2. 政策別分析結果	7
■政策別一覧表	8
■平成 21 年度及び平成 23 年度垂水市市民満足度調査との比較分析	9～10
■政策別個表	
(1) 共生・協働による地域づくりの推進	11
(2) 市民の多様な交流と連携の促進	12
(3) 地域を支える人材の育成	13
(4) 子育て支援体制の充実	14
(5) 学校教育の充実	15
(6) 学びあう社会の構築	16
(7) 地域文化の促進・保護・活用	17
(8) 地域保健の充実	18
(9) 高齢者保健福祉の推進	19
(10) 障害者保健福祉の推進	20
(11) 医療体制の充実	21
(12) 地域防災対策の推進	22
(13) 安心安全な地域社会の構築	23
(14) 快適な都市基盤の整備	24
(15) 循環型社会の構築	25
(16) 環境の保全	26
(17) 地域資源の活用	27
(18) 魅力ある農林業の振興	28
(19) 魅力ある水産業の振興	29
(20) 活気ある商工業の振興	30
(21) 働く環境の充実	31
(22) 魅力ある観光の振興	32
(23) 市民参画による行政経営	33
(24) 市民の目線による行政経営	34
(25) 市民の期待に応える職員の育成	35
(26) 行政改革の推進	36
(27) 財政運営の健全化	37
27 政策評価エリア集合図	38
3. 第 4 次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析結果	39
4. 今後の居住志向	40～41
5. 平成 23 年度市民満足度調査総括	42～44

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第4次垂水市総合計画基本計画に基づく27の政策について、「重要度」及び「満足度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主役の行政を実践するための資料とする。

また、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

2. 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	住民基本台帳に記載された市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 調査基礎資料	住民基本台帳（平成23年5月1日現在）
⑤ 抽出方法	無作為抽出
⑥ 調査方法	郵送調査法 ・調査対象者には振興会経由で配布 ・無記名調査 ・返信用封筒で回収 ・郵送料金は、受取人払とする
⑦ 調査期間	平成23年6月15日（水）～7月1日（金） ※ただし、実績としては、7月31日の回収分までをデータ処理の対象とした。

3. 調査の内容

(1) 調査の対象

- ①第4次垂水市総合計画基本計画に掲げた27の政策に対する「重要度」及び「満足度」
- ②今後の居住志向（今後も垂水市に住みたいと思うか）
- ③市政に対する自由意見

(2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とし、また、その理由について、自由記述とした。
また、上記③については、自由記述とした。

(3) 分析の方法

①回答者の属性分析

回答者の属性について、その割合等を集計する。また、必要なサンプル数についての検証を行う。

②政策別分析

政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。

また、自由意見は、政策ごとに記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。

これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。

③平成21年度及び平成23年度垂水市市民満足度調査の比較分析

平成21年度垂水市市民満足度調査及び平成23年度垂水市市民満足度調査の政策別の重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の差及び順位の変動を算出する。また相対評価及び評価エリアの変動を比較する。

④第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析

同基本構想「施策の大綱」に掲げた「基本目標」及び「重点目標」別に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。

⑤今後の居住志向に対する分析

回答状況及び属性ごとのクロス集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。

⑥平成23年度垂水市市民満足度調査の総括

⑦市政全般に関する自由意見

記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、その意見に適切に対応することができるよう担当課別にまとめる。

※「⑦市政全般に関する自由意見」は、平成23年度垂水市市民満足度調査結果報告書－資料集付－で「調査データ」としてまとめています。

4. 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

II 調査結果

1. 回答者の属性分析

(1) 必要なサンプル数についての検証

【アンケート回収数の信頼性検証】

アンケート回収数と誤差との関係は、アンケート回収数が少ないと誤差が大きく、回収数が多いと誤差は少なくなる。しかし、その関係は一定でなく、ある一定の数を超えると、回収数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなる。

統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差が3～5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると、384～1,067件であることが算出され、この程度の回収数があれば、住民意向の把握として十分納得できる数字になるといえる。

しかし、本市の回収数は355件であり、必要なサンプル数である384件を下回ったことから、若干ではあるが信頼性が確保されているとは言い難いと思われる。

平成21年度の結果報告書においても、400件以上の回答数が必要であると報告したが、今回も上述したように400件に満たない回答数となった。平成21年度の回収率が約33%、平成23年度の回収率が約35%であったことから次回調査の対象数を1,500人とすれば約450件の回答数が見込めるため、対象者数を変更する等の改善を行う必要がある。

〈参考〉 サンプル数（アンケートの有効回答数）と誤差との関係式

$$\text{必要なサンプル数} = (\text{有意水準}^2 \times P(1 - P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準：統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数 (1.96)

P：誤差が一番大きくなるのは50%のときである (0.5)

目標誤差：3～5%以内であれば良いとされる

(2) 各カテゴリ内の項目設定と属性分析結果について

サンプル数が十分でなく、分析結果に誤差が生じるおそれがあることから、調査精度を高めるために、年齢別及び地区別の項目を必要最小限に整理して分析を行った。

①男女別：回答者は、女性の割合が男性より、6.8ポイント高い結果となった。

②年齢別：回答者は、50代、60代、70代の割合が高く、特に70代は2.4ポイント近く高い。

なお、年代3区分程度で傾向を把握するため、次のとおり項目の設定を行った。

項目	構成比率
若年層／18～39歳	15.8%
壮年層／40～59歳	32.9%
高年層／60歳以上	50.4%

③職業別：回答者は、無職が30%を占め、以下、会社員、パート、専業主婦の割合が高い。

④地区別：回答者は、垂水、水之上、協和地区が高い。なお、大野や松ヶ崎地区の回答者が少ないことから、次のとおり項目の設定を行った。

項目	構成比率
新城・柁原地区	14.7%
垂水地区	49.6%
水之上・大野地区	12.4%
協和地区	9.0%
牛根地区全域	13.0%

⑤居住年数別：回答者の75%以上を居住20年以上が占めている。

■回答者の属性について

①男女別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 男性	500	50.0%	163	45.9%
2. 女性	500	50.0%	187	52.7%
未記入、不明			5	1.4%
合計	1,000	100.0%	355	100.0%

②年代別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 10代 (18歳以上)	8	0.8%	0	0.0%
2. 20代	97	9.7%	24	6.8%
3. 30代	109	10.9%	32	9.0%
4. 40代	115	11.5%	39	11.0%
5. 50代	196	19.6%	78	22.0%
6. 60代	167	16.7%	69	19.4%
7. 70以上	308	30.8%	110	31.0%
未記入、不明			3	0.8%
合計	1,000	100.0%	355	100.0%

③職業別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 会社員	-	-	62	17.5%
2. 自営業	-	-	21	5.9%
3. 公務員	-	-	23	6.5%
4. 農林水産業	-	-	21	5.9%
5. パートアルバイト	-	-	51	14.4%
6. 専業主婦 (主夫)	-	-	47	13.2%
7. 学生	-	-	5	1.4%
8. 無職	-	-	111	31.3%
9. その他	-	-	9	2.5%
未記入、不明	-	-	5	1.4%
合計	-	-	355	100.0%

④居住地別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 新城地区	70	7.0%	24	6.8%
2. 柁原地区	90	9.0%	28	7.9%
3. 垂水地区	470	47.0%	176	49.6%
4. 水之上地区	100	10.0%	37	10.4%
5. 大野地区	10	1.0%	7	2.0%
6. 協和地区	120	12.0%	32	9.0%
7. 松ヶ崎地区	40	4.0%	12	3.4%
8. 牛根地区	50	5.0%	19	5.4%
9. 境地区	50	5.0%	15	4.2%
未記入、不明			5	1.4%
合計	1,000	100.0%	355	100.0%

⑤居住期間別

	配布数 (人)	割合 (%)	回答者数 (人)	割合 (%)
1. 5年未満	-	-	32	9.0%
2. 5年～10年	-	-	14	3.9%
3. 10年～20年	-	-	35	9.9%
4. 20年以上	-	-	269	75.8%
未記入、不明	-	-	5	1.4%
合計	-	-	355	100.0%

2. 政策別分析結果

第4次垂水市総合計画基本計画に掲げている27の政策について、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、平成21年度に引き続きニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度とのかい離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものとしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度・満足度とも平均値より高い項目
- ◎Ⅱ：重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- ◎Ⅲ：重要度の平均値は低いが、満足度の平均値は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度・満足度とも平均値より低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- ◎Bエリア：ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- ◎Cエリア：重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- ◎Dエリア：重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

ニーズ分析は、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位を求めている。項目単位の数字は、同じカテゴリ内（男女別、年齢別等）の属性別（男女別であれば「男」「女」のこと）のニーズ値の高い順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であるかを示したものである。なお、ニーズ値が平均以上の場合には、○付き数字で表記している。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1 / 3 / 5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

■政策別一覧表

重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	政策名	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価 エリア
		平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	標準 偏差	平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	標準 偏差		重要度－ 満足度	相対 順位	
1	共生・協働による地域づくりの推進	4.061	-0.186	22	0.86	3.106	-0.126	22	0.83	IV	0.954	16	D
2	市民の多様な交流と連携の促進	4.188	-0.058	15	0.83	3.239	0.007	13	0.89	III	0.949	17	D
3	地域を支える人材の育成	4.121	-0.125	18	0.87	3.160	-0.072	17	0.88	IV	0.961	15	D
4	子育て支援体制の充実	4.379	0.133	10	0.79	3.188	-0.044	16	0.89	II	1.191	5	A
5	学校教育の充実	4.362	0.115	11	0.80	3.227	-0.005	15	0.93	II	1.134	7	A
6	学びあう社会の構築	3.954	-0.293	25	0.86	3.234	0.002	14	0.79	III	0.720	26	D
7	地域文化の促進・保護・活用	3.905	-0.342	26	0.90	3.294	0.062	10	0.81	III	0.610	27	D
8	地域保健の充実	4.469	0.222	4	0.70	3.633	0.401	1	0.92	I	0.836	24	C
9	高齢者保健福祉の推進	4.573	0.326	3	0.62	3.463	0.230	4	0.98	I	1.110	9	A
10	障害者保健福祉の推進	4.387	0.141	8	0.72	3.241	0.008	12	0.85	I	1.147	6	A
11	医療体制の充実	4.676	0.430	1	0.57	3.408	0.175	6	1.16	I	1.269	3	A
12	地域防災対策の推進	4.656	0.410	2	0.56	3.458	0.226	5	0.98	I	1.198	4	A
13	安心安全な地域社会の構築	4.462	0.215	5	0.66	3.480	0.248	3	0.89	I	0.982	13	C
14	快適な都市基盤の整備	4.387	0.140	9	0.71	3.327	0.095	8	0.98	I	1.059	10	A
15	循環型社会の構築	4.407	0.161	6	0.75	3.522	0.290	2	0.98	I	0.885	21	C
16	環境の保全	4.262	0.016	12	0.78	3.339	0.107	7	0.87	I	0.923	20	C
17	地域資源の活用	4.179	-0.068	16	0.79	3.253	0.021	11	0.88	III	0.926	19	D
18	魅力ある農林業の振興	4.003	-0.244	24	0.89	3.130	-0.102	19	0.84	IV	0.873	22	D
19	魅力ある水産業の振興	4.079	-0.167	21	0.88	3.298	0.065	9	0.80	III	0.782	25	D
20	活気ある商工業の振興	4.081	-0.165	20	0.86	3.044	-0.188	24	0.96	IV	1.037	12	B
21	働く環境の充実	4.389	0.143	7	0.81	2.789	-0.443	27	1.07	II	1.600	1	A
22	魅力ある観光の振興	4.058	-0.188	23	0.95	3.095	-0.137	23	0.95	IV	0.964	14	D
23	市民参画による行政経営	3.863	-0.383	27	0.89	3.012	-0.220	25	0.76	IV	0.851	23	D
24	市民の目線による行政経営	4.162	-0.084	17	0.83	3.120	-0.112	21	0.94	IV	1.042	11	B
25	市民の期待に応える職員の育成	4.226	-0.020	14	0.93	2.895	-0.337	26	1.03	IV	1.332	2	B
26	行政改革の推進	4.082	-0.165	19	0.88	3.149	-0.083	18	0.83	IV	0.933	18	D
27	財政運営の健全化	4.243	-0.003	13	0.83	3.128	-0.105	20	0.86	IV	1.116	8	B
	平均値	4.246				3.232					1.014		

■平成21年度及び平成23年度垂水市市民満足度調査結果との比較分析

NO.	政策名		重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価エリア	比較
			平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位			
1	共生・協働による地域づくりの推進	H23	4.061	22	3.106	22	0.954	16	IV	D	満足度が下がり、相対順位も大きく下がっていることから成果が見られない。
		H21	4.191	16	3.315	15	0.876	21	IV	D	
		差	-0.130	-6	-0.209	-7	0.078	5			
2	市民の多様な交流と連携の促進	H23	4.188	15	3.239	13	0.949	17	III	D	相対評価がIV→IIIになり、満足度の向上が見られる。
		H21	4.251	13	3.316	14	0.935	16	IV	D	
		差	-0.063	-2	-0.077	1	0.014	-1			
3	地域を支える人材の育成	H23	4.121	18	3.160	17	0.961	15	IV	D	特に大きな変化は見られない。
		H21	4.220	14	3.283	20	0.936	15	IV	D	
		差	-0.099	-4	-0.123	3	0.025	0			
4	子育て支援体制の充実	H23	4.379	10	3.188	16	1.191	5	II	A	相対評価がI→IIになり、満足度の低下が見られる。
		H21	4.599	4	3.336	12	1.263	3	I	A	
		差	-0.220	-6	-0.148	-4	-0.072	-2			
5	学校教育の充実	H23	4.362	11	3.227	15	1.134	7	II	A	特に大きな変化は見られない。
		H21	4.474	7	3.295	18	1.179	4	II	A	
		差	-0.112	-4	-0.068	3	-0.045	-3			
6	学びあう社会の構築	H23	3.954	25	3.234	14	0.720	26	III	D	満足度が下がり、相対順位も大きく下がっていることから成果が見られない。
		H21	4.128	23	3.415	7	0.713	25	III	D	
		差	-0.174	-2	-0.181	-7	0.007	-1			
7	地域文化の促進・保護・活用	H23	3.905	26	3.294	10	0.610	27	III	D	満足度が下がり、相対順位も大きく下がっていることから成果が見られない。
		H21	4.053	26	3.514	4	0.539	27	III	D	
		差	-0.148	0	-0.220	-6	0.071	0			
8	地域保健の充実	H23	4.469	4	3.633	1	0.836	24	I	C	満足度の相対順位は前回に引続き1位であることから、事業成果が認められる。
		H21	4.586	5	3.742	1	0.844	22	I	C	
		差	-0.117	1	-0.109	0	-0.008	-2			
9	高齢者保健福祉の推進	H23	4.573	3	3.463	4	1.110	9	I	A	満足度の相対順位が上がり、二一ズ値の相対順位が下がったことから、成果が認められる。
		H21	4.607	3	3.465	6	1.142	6	I	A	
		差	-0.034	0	-0.002	2	-0.032	-3			
10	障害者保健福祉の推進	H23	4.387	8	3.241	12	1.147	6	I	A	特に大きな変化は見られない。
		H21	4.408	11	3.343	11	1.065	8	I	A	
		差	-0.021	3	-0.102	-1	0.082	2			
11	医療体制の充実	H23	4.676	1	3.408	6	1.269	3	I	A	重要度の相対順位は前回に引続き1位である。満足度の数値及び相対順位が向上しているため、事業成果が認められる。
		H21	4.752	1	3.371	9	1.382	2	I	A	
		差	-0.076	0	0.037	3	-0.113	-1			
12	地域防災対策の推進	H23	4.656	2	3.458	5	1.198	4	I	A	評価エリアがC→Aになり、満足度の低下、二一ズ値が上がるなど成果が見られない。
		H21	4.678	2	3.711	2	0.967	11	I	C	
		差	-0.022	0	-0.253	-3	0.231	7			
13	安心安全な地域社会の構築	H23	4.462	5	3.480	3	0.982	13	I	C	二一ズ値の相対順位は上がっているが満足度は前回に引続き3位であり一定の成果が認められる。
		H21	4.543	6	3.629	3	0.914	18	I	C	
		差	-0.081	1	-0.149	0	0.068	5			
14	快適な都市基盤の整備	H23	4.387	9	3.327	8	1.059	10	I	A	評価エリアがC→Aになり、満足度の低下、二一ズ値が上がるなど成果が見られない。
		H21	4.425	9	3.475	5	0.950	12	I	C	
		差	-0.038	0	-0.148	-3	0.109	2			
15	循環型社会の構築	H23	4.407	6	3.522	2	0.885	21	I	C	満足度の数値、相対順位が上がり、二一ズ値が低下したことから事業成果が認められる。
		H21	4.353	12	3.408	8	0.946	14	I	C	
		差	0.054	6	0.114	6	-0.061	-7			
16	環境の保全	H23	4.262	12	3.339	7	0.923	20	I	C	評価エリアがA→C、二一ズ値が低下したことから事業成果が認められる。
		H21	4.451	8	3.367	10	1.084	7	I	A	
		差	-0.189	-4	-0.028	3	-0.161	-13			

NO.	政策名		重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価エリア	比較
			平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位			
17	地域資源の活用	H23	4.179	16	3.253	11	0.926	19	III	D	相対評価がⅣ→Ⅲになり、満足度の向上が見られる。
		H21	4.122	24	3.323	13	0.799	24	Ⅳ	D	
		差	0.057	8	-0.070	2	0.127	5			
18	魅力ある農林業の振興	H23	4.003	24	3.130	19	0.873	22	Ⅳ	D	特に大きな変化は見られないが、重要度の順位が9ランク下がっている。
		H21	4.194	15	3.310	16	0.883	20	Ⅳ	D	
		差	-0.191	-9	-0.180	-3	-0.010	-2			
19	魅力ある水産業の振興	H23	4.079	21	3.298	9	0.782	25	Ⅲ	D	満足度の相対順位が上がり、相対評価がⅣ→Ⅲとなったことから、事業成果が認められる。
		H21	4.131	22	3.298	17	0.833	23	Ⅳ	D	
		差	-0.052	1	0.000	8	-0.051	-2			
20	活気ある商工業の振興	H23	4.081	20	3.044	24	1.037	12	Ⅳ	B	評価エリアがD→Bであり、重要度、満足度の相対順位が下位であることから成果がみられない。
		H21	4.107	25	3.159	23	0.948	13	Ⅳ	D	
		差	-0.026	5	-0.115	-1	0.089	1			
21	働く環境の充実	H23	4.389	7	2.789	27	1.600	1	Ⅱ	A	満足度、ニーズ値の順位が前回に引続き同じ結果となり成果が見られない。
		H21	4.423	10	2.825	27	1.598	1	Ⅱ	A	
		差	-0.034	3	-0.036	0	0.002	0			
22	魅力ある観光の振興	H23	4.058	23	3.095	23	0.964	14	Ⅳ	D	ニーズ値の相対順位が下がり、評価エリアがB→Dになっていることから成果が認められる。
		H21	4.136	21	3.111	25	1.025	9	Ⅳ	B	
		差	-0.078	-2	-0.016	2	-0.061	-5			
23	市民参画による行政経営	H23	3.863	27	3.012	25	0.851	23	Ⅳ	D	特に大きな変化は見られない。
		H21	3.835	27	3.133	24	0.702	26	Ⅳ	D	
		差	0.028	0	-0.121	-1	0.149	3			
24	市民の目線による行政経営	H23	4.162	17	3.120	21	1.042	11	Ⅳ	B	ニーズ値の相対順位が上がり、評価エリアがD→Bになったことから成果が認められない。
		H21	4.183	17	3.294	19	0.889	19	Ⅳ	D	
		差	-0.021	0	-0.174	-2	0.153	8			
25	市民の期待に応える職員の育成	H23	4.226	14	2.895	26	1.332	2	Ⅳ	B	重要度、ニーズ値が上がったことから成果が認められない。
		H21	4.179	18	3.029	26	1.150	5	Ⅳ	B	
		差	0.047	4	-0.134	0	0.182	3			
26	行政改革の推進	H23	4.082	19	3.149	18	0.933	18	Ⅳ	D	特に大きな変化は見られない。
		H21	4.140	20	3.208	21	0.932	17	Ⅳ	D	
		差	-0.058	1	-0.059	3	0.001	-1			
27	財政運営の健全化	H23	4.243	13	3.128	20	1.116	8	Ⅳ	B	重要度、ニーズ値の相対順位が上がり、評価エリアがD→Bになったことから成果が認められない。
		H21	4.164	19	3.189	22	0.975	10	Ⅳ	D	
		差	0.079	6	-0.061	2	0.141	2			
全体		H23	4.246	-	3.232	-	1.014	-	-	-	-
		H21	4.311	-	3.330	-	0.980	-	-	-	
		差	-0.065	-	-0.098	-	0.034	-	-	-	

■政策別分析結果

1. 共生・協働による地域づくりの推進

【政策の概要】

目標の考え方	共生・協働の社会を実現するために、全ての市民が手を取り合い、いきいきと暮らせる仕組みをつくり、地域住民の手により目指すべき地域の将来像を考える必要があります。個人と地域と行政とのそれぞれの役割を自覚しながら、地域住民による主体的な地域活動が行えるような取り組みを進めます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 共生・協働推進事業 ● 地域振興計画策定事業 ● 垂水市人権同和教育事業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画関連事業 ● 共生・協働の農村づくり運動事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.061	0.86	22	全体平均値：4.246
満足度		3.106	0.83	22	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.954	—	16	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	13		
	女	2	19		
年齢別	若年層	1	13		
	壮年層	2	18		
	高年層	3	18		
職業別	会社員	5	22		
	自営業	3	15		
	公務員	1	③		
	農林水産業	8	16		
	パート	4	17		
	専業主婦	7	25		
	学生	2	④		
	無職	6	⑩		
	その他	—	23		
地区別	新城・柘原地区	5	16		
	垂水地区	1	⑩		
	水之上・大野地区	4	21		
	協和地区	2	25		
	牛根地区全域	3	21		
居住年数別	5年未満	1	⑫		
	5～10年	3	⑩		
	10～20年	2	⑨		
	20年以上	4	18		
特記事項	●職業別：公務員や学生が高く、会社員や専業主婦は低い傾向が見られ、差異がある。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 28件／課題6件・評価1件・要望4件・その他17件 ●キーワード：わからない、知らないという意見が多い。共生協働や情報提供、支援体制等の意見もあった。 				
平成21年度実施分との比較	●満足度が下がり、相対順位も大きく下がっていることから成果が見られない。				
評価結果	●評価エリアはDのため現状の取組を行うが、本政策は本市基本理念であり、また、まちづくりの基本的姿勢・考え方であるため、あり方を検討するなどの取り組みを進める。				

■政策別分析結果

2. 市民の多様な交流と連携の促進

【政策の概要】

目標の考え方	市民や各種団体、行政が持つ情報はそれぞれに価値があり、その情報がお互いで共有されれば、様々な課題の解決や地域の活性化につながることから、多様な交流と連携に対する取り組みを進めます。特に防災対策、高齢者の生活支援、生活環境の保全、子育て支援などに対して、地域や団体間の交流を深め、支えあい、連携しあう取り組みを進めます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿児島大学との包括連携協定関連事業 ● 市民活動団体支援体制づくり事業 ● 地域イントラネット機器更新事業 ● 振興会関連事業 ● ボランティア団体等活動支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.188	0.83	15	全体平均値：4.246
満足度		3.239	0.89	13	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.949	—	17	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	15		
	女	2	17		
年齢別	若年層	2	16		
	壮年層	1	13		
	高年層	3	21		
職業別	会社員	4	18		
	自営業	2	17		
	公務員	1	⑧		
	農林水産業	7	14		
	パート	6	19		
	専業主婦	5	14		
	学生	3	⑦		
	無職	8	18		
	その他	—	23		
地区別	新城・柘原地区	5	15		
	垂水地区	1	15		
	水之上・大野地区	3	16		
	協和地区	2	20		
居住年数別	5年未満	2	15		
	5～10年	3	⑮		
	10～20年	1	⑧		
	20年以上	4	20		
特記事項	●属性別では全体的に大きな差異が見られない。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由意見記入件数 25 件／課題 11 件・要望 5 件・その他 9件 ● キーワード：情報提供、地域交流に関する意見が多かった。 				
平成21年度実施分との比較	●相対評価がⅣ→Ⅲになり、満足度の向上が見られる。				
評価結果	●一定の成果が見られることから、現状の取組を継続していく。				

■政策別分析結果

3. 地域を支える人材の育成

【政策の概要】

目標の考え方	地域活動に気軽に参加できる環境づくりと、活動の中心となる地域活力の向上に必要な人材の発掘・育成に取り組みます。また、特色のある地域づくりのために、郷土をより深く学ぶ取り組みを進めます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●人材育成事業 ●垂水市視聴覚ライブラリー事業 ●青少年ボランティア推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.121	0.87	18	全体平均値：4.246
満足度		3.160	0.88	17	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.961	—	15	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	17		
	女	2	15		
年齢別	若年層	2	17		
	壮年層	3	22		
	高年層	1	⑬		
職業別	会社員	5	24		
	自営業	2	13		
	公務員	1	⑥		
	農林水産業	7	19		
	パート	3	⑭		
	専業主婦	4	12		
	学生	8	26		
	無職	6	16		
その他	—	18			
地区別	新城・柁原地区	5	⑩		
	垂水地区	1	14		
	水之上・大野地区	2	15		
	協和地区	3	24		
	牛根地区全域	4	19		
居住年数別	5年未満	1	17		
	5～10年	3	20		
	10～20年	2	13		
	20年以上	4	16		
特記事項	●属性別では全体的に大きな差異が見られない。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 17 件／課題 8 件・評価 1 件・要望 3 件・その他 5 件 ●キーワード：人材育成や参加のあり方についての意見が多かった。 				
平成21年度実施分との比較	●特に大きな変化は見られない。				
評価結果	●評価エリアはDであることから、現状の取組を継続していく。				

■政策別分析結果

4. 子育て支援体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の恵まれた自然や歴史・文化の中で、心身ともに健全な子どもとして育つため、そして心豊かな人間性を持った次世代の親として育つためには、子どもだけでなく、親や家族とともに育っていきける環境づくりを進めるとともに、地域の果たす役割も大きいという認識のもと、地域や職場など社会が一体となって子育てを支援していくよう取り組みます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールガードリーダー事業 ●スクールソーシャルワーカー事業 ●特別保育対策事業 ●母子保健事業 ●子育てに関する経済的支援事業 ●児童虐待防止対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.379	0.79	10	全体平均値：4.246
満足度		3.188	0.89	16	全体平均値：3.232
ニーズ値		1.191	—	5	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		II	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	④		
	女	2	⑥		
年齢別	若年層	1	③		
	壮年層	2	⑧		
	高年層	3	⑤		
職業別	会社員	1	④		
	自営業	2	⑤		
	公務員	6	⑩		
	農林水産業	8	15		
	パート	4	⑦		
	専業主婦	3	③		
	学生	5	④		
	無職	7	⑤		
その他	—	15			
地区別	新城・柘原地区	4	⑤		
	垂水地区	1	④		
	水之上・大野地区	2	⑦		
	協和地区	3	17		
	牛根地区全域	5	⑧		
居住年数別	5年未満	1	④		
	5～10年	3	⑫		
	10～20年	2	⑤		
	20年以上	4	⑤		
特記事項	●ニーズ値は全体の5位であるが、満足度は全体の16位である。ほとんどの階層で高い順位を示しており、ニーズ値の数値はほとんどが平均値以上である。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 22 件／課題 11 件・評価 2 件・要望 3 件・その他 6 件 ●キーワード：子育て支援体制方法等の意見が多い。保護者に関する意見もあった。 				
平成21年度実施分との比較	●相対評価がⅠ→Ⅱになり、満足度の低下が見られる。				
評価結果	●平成21年度調査における重点項目であったが、相対評価がⅡのため、改善が見られなかった。評価エリアがAのため、引き続き、優先的に取り組んでいく必要がある。				

■政策別分析結果

5. 学校教育の充実

【政策の概要】

目標の考え方	自ら学び自ら考える、たくましく「生きる力」を備えた、子どもを育てるために、教職員一人一人の資質の向上を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進します。その中で、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について地域の人材を活かしながら体験を通して学習し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」を育成するとともに、垂水の次代を担う子どもたちが生き生きと学べる良好な教育環境の確保に取り組みます	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●垂水高校振興対策事業 ●特別支援教育特別支援員事業 ●小学校・中学校施設整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員住宅管理整備事業 ●垂水市セカンドスクール事業 ●理科教育推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度		4.362	0.80	11	全体平均値：4.246
満足度		3.227	0.93	15	全体平均値：3.232
ニーズ値		1.134	—	7	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		II	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	⑥		
	女	2	⑧		
年齢別	若年層	1	⑧		
	壮年層	2	⑩		
	高年層	3	④		
職業別	会社員	1	⑧		
	自営業	2	⑦		
	公務員	8	18		
	農林水産業	5	③		
	パート	3	⑥		
	専業主婦	4	⑥		
	学生	6	⑦		
	無職	7	⑦		
その他	—	⑪			
地区別	新城・柘原地区	3	③		
	垂水地区	2	⑧		
	水之上・大野地区	1	④		
	協和地区	4	18		
	牛根地区全域	5	⑩		
居住年数別	5年未満	2	⑦		
	5～10年	4	18		
	10～20年	1	③		
	20年以上	3	⑨		
特記事項	●ほとんどの階層で高い順位である。地区別で差異が見られ、協和地区以外は高いニーズ値を示している。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 26 件／課題 10 件・評価 5 件・要望 8 件・その他 3 件 ●キーワード：教職員、垂水高校に関する意見が多かった。意見の種別では、26件のうち8件を要望が占めた。 				
平成21年度実施分との比較	<ul style="list-style-type: none"> ●垂水高校存続の意見が寄せられたこと ●全体的な数値においては、特に大きな変化は見られない。 				
評価結果	●新たに垂水高校存続の課題が示されており、また、評価エリアもAであることから、優先的に取り組んでいく必要がある。				

■政策別分析結果

6. 学びあう社会の構築

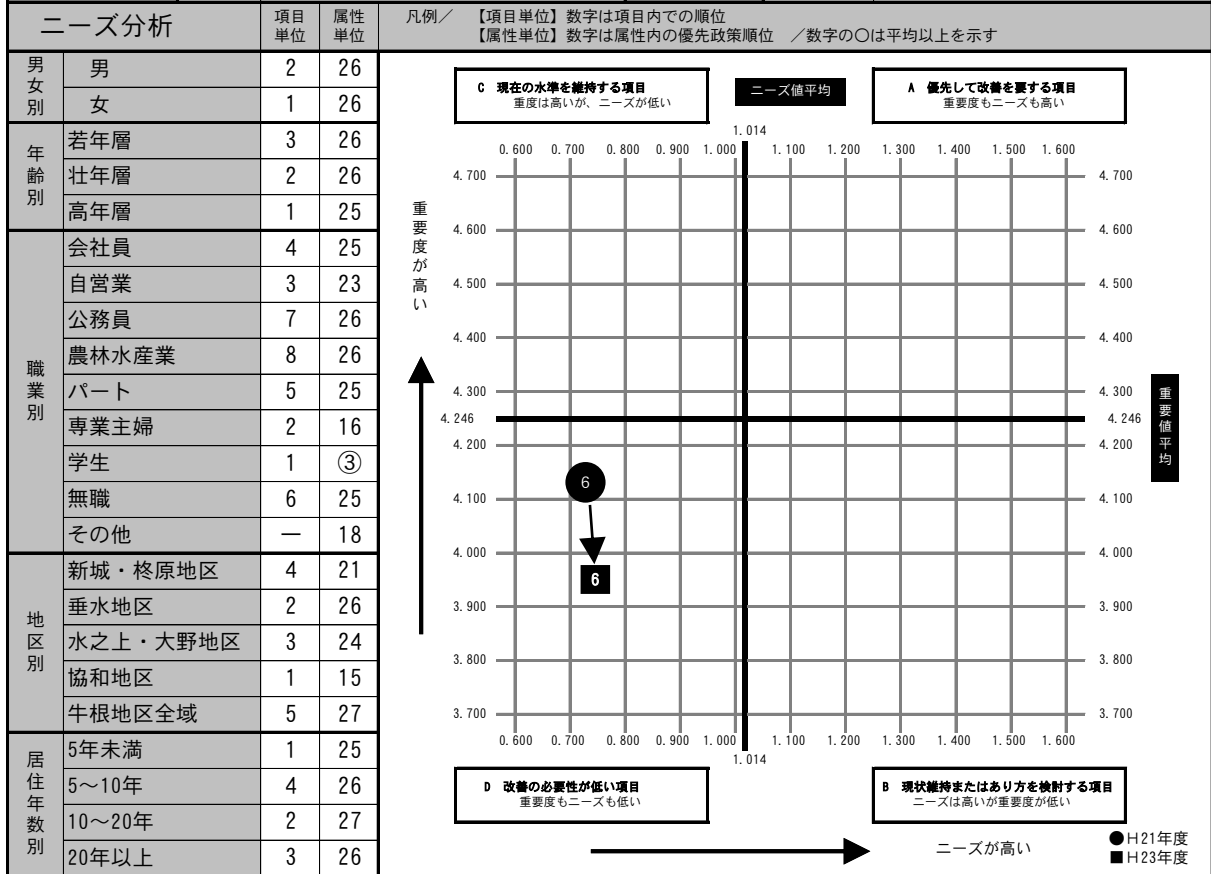
【政策の概要】

目標の考え方	多様化・高度化する学習ニーズに対応し、市民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現など、学びあう社会づくりに取り組みます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●市立図書館運営事業 ●生涯学習事業 ●大野自然学校事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティスポーツ教室事業 ●総合型地域スポーツクラブ事業 ●錦江湾シーカヤック大会

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	3.954	0.86	25	全体平均値：4.246
満足度	3.234	0.79	14	全体平均値：3.232
ニーズ値	0.720	—	26	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	III	重要度は低いが、満足度は高い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
------	-----	------------------	-------	---	-------------



特記事項	●ニーズ値が全体の26位で、ほとんどの階層で優先順位が低い結果となった。職業別で学生は高い傾向にある。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 20 件／課題 8 件・評価 3 件・要望 9 件・その他 0 件 ●キーワード：生涯学習に対する意見が多く、学びの場を求める要望も多かった。意見20件のうち要望が9件を占めた。
平成21年度実施分との比較	●満足度が下がり、相対順位も大きく下がっていることから成果が見られない。
評価結果	●評価エリアはDであることから現状の取組を維持していく。なお、自由意見に要望が多かったことから対応していく必要がある。

■政策別分析結果

7. 地域文化の促進・保護・活用

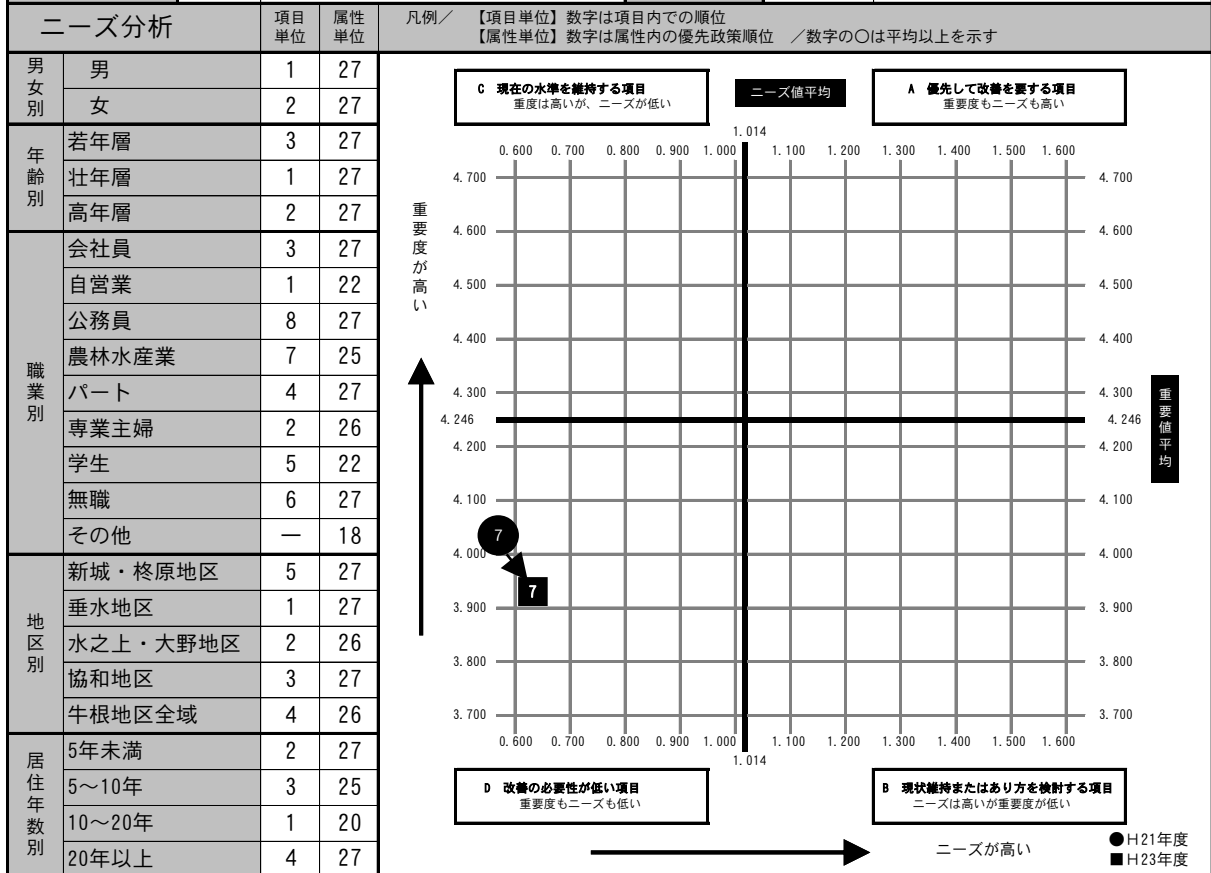
【政策の概要】

目標の考え方	古くから伝わる歴史民俗文化財や埋蔵文化財、また、郷土の偉人が残した功績は市民共有の財産であり歴史教育の教材です。これらを保存・活用・顕彰することや文化団体の支援、芸術家の育成、良質の芸術文化を提供するなど多様な文化活動を促進することにより郷土愛を育み、ゆとりと活力のある豊かな地域社会の実現を目指します。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史民俗資料館建設 ●指定文化財・埋蔵文化財事業 ●文化会館管理運営事業 ●瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール ●文化振興事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	3.905	0.90	26	全体平均値：4.246
満足度	3.294	0.81	10	全体平均値：3.232
ニーズ値	0.610	—	27	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
------	---	-----------------	-------	---	-------------



特記事項	●ニーズ値が全体の27位で、全階層で優先順位が低い結果となった。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 16 件／課題 3 件・評価 2 件・要望 8 件・その他 3 件 ●キーワード：瀬戸コンや施設管理に関する意見が多かった。意見16件のうち要望が8件を占めた。
平成21年度実施分との比較	●満足度が下がり、相対順位も大きく下がっていることから成果が見られない。
評価結果	●前回より満足度が下がっているが、相対評価がⅢ、評価エリアがDであることから、他の政策と比較し一定の評価があると思われるので現状維持に努めていく。

■政策別分析結果

8. 地域保健の充実

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して暮らしていくために、生涯を通じた生活習慣病予防やがん予防など、保健事業の推進と保健医療活動の充実に取り組みます。また、生きがいを持つことが健康づくりにつながることから、地域における健康づくり活動や生きがいづくり支援を行い、広く市民の健康増進に努めます。	
主な取り組み	●特定健診・特定保健指導事業 ●健康増進事業	●感染症予防事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.469	0.70	4	全体平均値：4.246
満足度		3.633	0.92	1	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.836	—	24	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	24	<p>C 現在の水準を維持する項目 重要度は高いが、ニーズが低い</p> <p>ニーズ値平均</p> <p>A 優先して改善を要する項目 重要度もニーズも高い</p> <p>D 改善の必要性が低い項目 重要度もニーズも低い</p> <p>B 現状維持またはあり方を検討する項目 ニーズは高いが重要度が低い</p> <p>● H21年度 ■ H23年度</p>	
	女	2	22		
年齢別	若年層	1	14		
	壮年層	2	16		
	高年層	3	26		
職業別	会社員	1	16		
	自営業	4	25		
	公務員	3	17		
	農林水産業	6	22		
	パート	2	18		
	専業主婦	5	24		
	学生	8	18		
	無職	7	26		
	その他	—	25		
地区別	新城・柘原地区	5	21		
	垂水地区	2	24		
	水之上・大野地区	3	23		
	協和地区	1	12		
居住年数別	5年未満	2	23		
	5～10年	1	3		
	10～20年	3	24		
	20年以上	4	24		
特記事項	●重要度が全体の4位、満足度が全体の1位であるが、ニーズ値が全体の24位となり、ほとんどの階層で優先順位は低い傾向にある。				
自由意見	●自由意見記入件数 10 件／課題 4 件・評価 3 件・要望 3 件・その他 0 件 ●キーワード：理念的な意見が多い中、医療費に対する意見もあった。				
平成21年度実施分との比較	●満足度の相対順位は前回に引続き1位であることから、事業成果が認められる。				
評価結果	●満足度が高く、反対にニーズ値が低いこと、また評価エリアがCであることから現状の水準を維持する取組を行う。				

■政策別分析結果

9. 高齢者保健福祉の推進

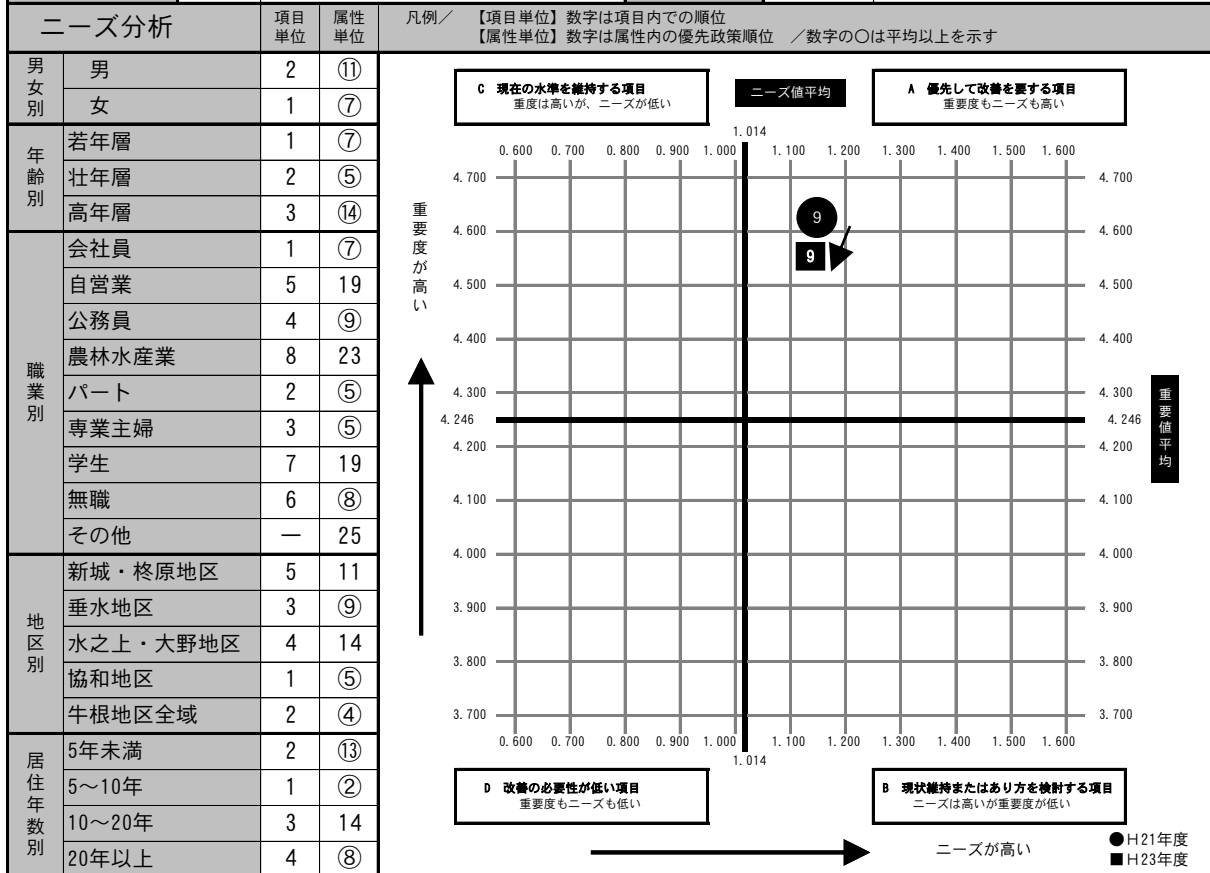
【政策の概要】

目標の考え方	高齢者の充実した生活の創造を目指し、生涯現役社会づくりの推進や生活環境の向上に努めるとともに、総合相談体制を充実し、関係機関と連携を密にしながら認知症予防や権利擁護など推進します。また、地域に密着した介護サービスの基盤整備を図り、住み慣れた地域で高齢者が尊厳を持ち、暮らせる地域ケア体制づくりに努めます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険事業 ●老人保護措置事業 ●地域支援事業 ●垂水市社会福祉協議会補助事業 ●在宅福祉事業 ●社団法人垂水市シルバー人材センター補助事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.573	0.62	3	全体平均値：4.246
満足度	3.463	0.98	4	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.110	—	9	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●重要度が全体で3位、満足度が全体で4位、ニーズ値が全体で9位と全てで高い結果となり、多くの階層で平均値以上の数値がでる結果となった。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 18 件／課題 6 件・評価 5 件・要望 5 件・その他 2 件 ●キーワード：事業に対する意見や福祉施設の意見があった。
平成21年度実施分との比較	●満足度の相対順位が上がり、ニーズ値の相対順位が下がったことから、成果が認められる。
評価結果	●評価エリアはAであるが、平成21年度と比較し成果が認められることから、現状の取組を維持していく。

■政策別分析結果

10. 障害者保健福祉の推進

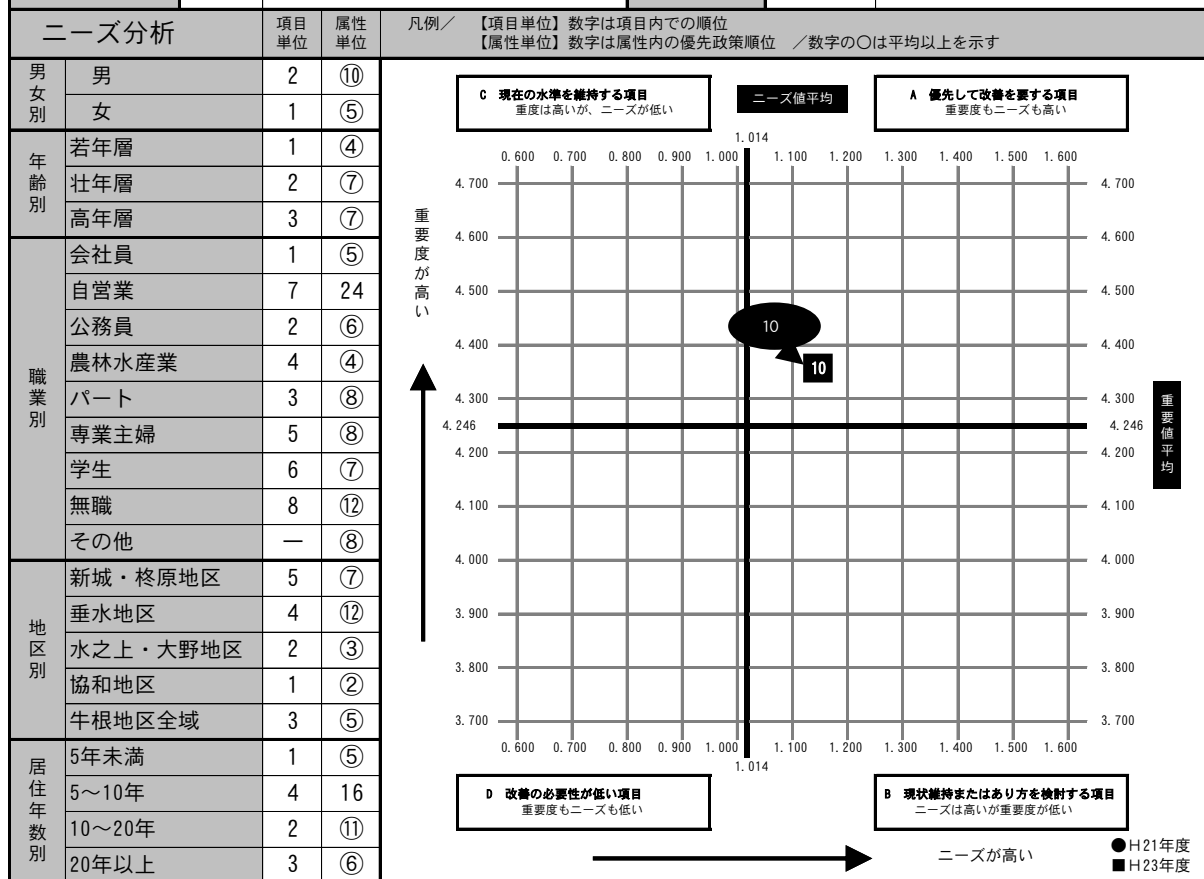
【政策の概要】

目標の考え方	障害者があらゆる分野での社会参加が実現出来ることを基本とし、障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に権利と義務を、能力に応じて補い合い、助け合って生きていく地域社会をつくる「ノーマライゼーション」と、障害者の身体的・精神的・社会的な適応能力を回復することにとどまらず、障害者がそれぞれの年代のあらゆる生活段階において、人間らしく生きる権利の回復を図る「リハビリテーション」の理念を具現化していき、全ての市民が生き生きとした生活を送り、共に生き、支え合う社会づくりに取り組みます。
主な取り組み	●障害児に対する支援事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.387	0.72	8	全体平均値：4.246
満足度	3.241	0.85	12	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.147	—	6	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●ニーズ値の相対順位が全体で6位と高い。
自由意見	●自由意見記入件数 15 件／課題 6 件・要望 2 件・その他 7 件 ●キーワード：市の事業に対する意見が多い。
平成21年度実施分との比較	●特に大きな変化は見られない。
評価結果	●評価エリアがAであり、ニーズ値も高いことから優先的に取り組んでいく。

■政策別分析結果

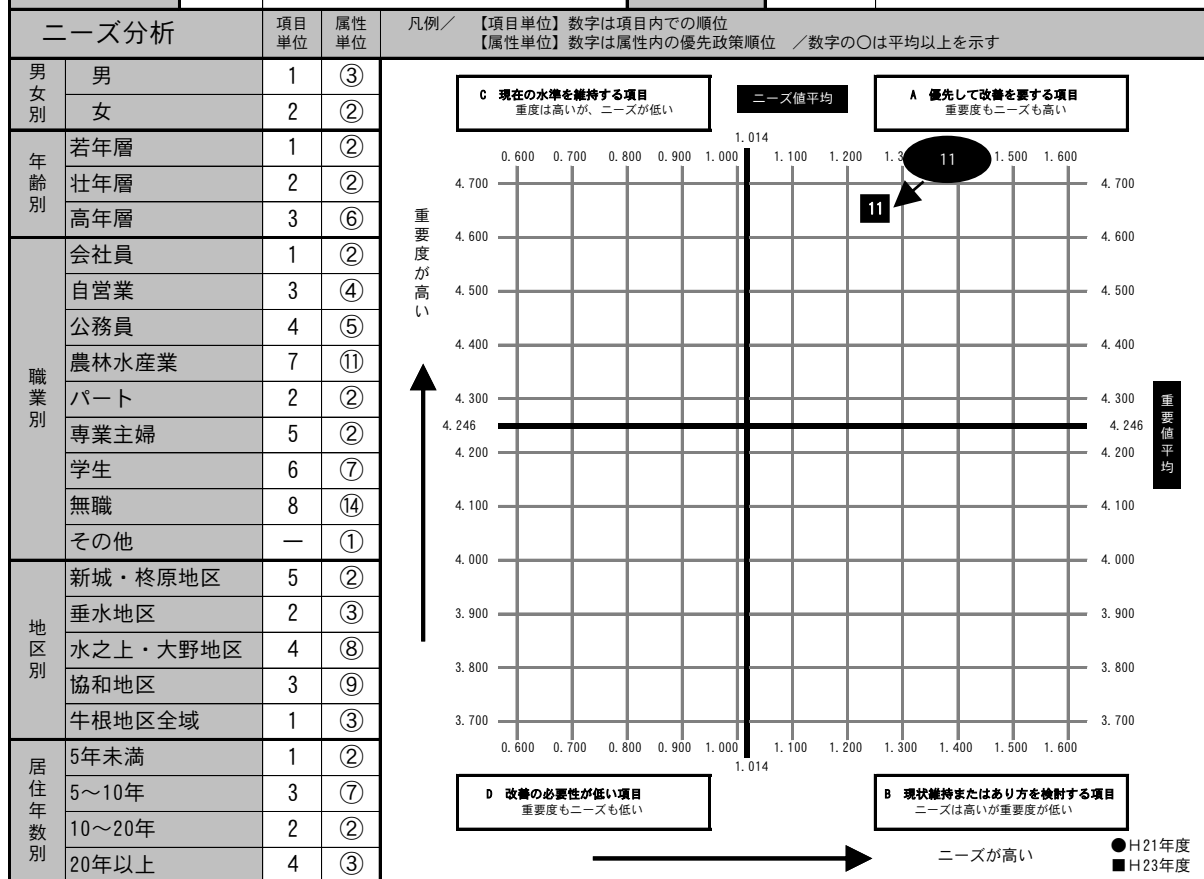
11. 医療体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して医療を受けることができるよう、垂水中央病院を核に医師会等との連携を図り、救急医療体制等を構築し、地域医療の確保と医療水準の向上に取り組みます。また、垂水中央病院が中核病院として地域住民に対する24時間体制の医療を提供すること及び保健・医療・福祉の連携により地域住民の健康増進に取り組みます。
主な取り組み	●医療対策事業 ●垂水中央病院管理運営事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.676	0.57	1	全体平均値：4.246
満足度	3.408	1.16	6	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.269	—	3	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目



特記事項	●重要度1位、満足度6位、ニーズ値3位と非常に高い順位である。多くの階層で2位、3位と高い順位であり、全ての階層で平均値を上回る結果となった。
自由意見	●自由意見記入件数 37 件／課題 23 件・評価 2 件・要望 10 件・その他 2 件 ●キーワード：垂水中央病院と医療体制に対する課題が多い。小児科、婦人科等の要望も多い。
平成21年度実施分との比較	●重要度の相対順位は前回に引続き1位である。満足度の数値及び相対順位が向上しているため、事業成果が認められる。
評価結果	●評価エリアはAであるが、満足度の改善が見られることから現在の水準の取組を行うつつ、標準偏差が高いことから、不満層に対する対策が望まれる。

■政策別分析結果

12. 地域防災対策の推進

【政策の概要】

目標の考え方	自然災害から市民の生命と財産を守るため、垂水市地域防災計画に基づき、災害の予防、応急対策、復旧・復興対策を進めます。また、大規模な災害に対処するためには、防災関係機関による「公助」だけでなく、自分の身は自分で守る「自助」、地域のことは地域で守る「共助」が重要なことから、地域の防災力の向上に努めるとともに、災害情報の収集や伝達、また、災害時要援護者に配慮した対策に取り組みます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制整備事業 ●自主防災組織育成事業 ●防災情報提供体制整備事業 ●指定避難所環境整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報収集体制整備事業 ●がけ地近接等危険住宅移転事業 ●急傾斜崩壊対策事業 ●桜島火山対策事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.656	0.56	2	全体平均値：4.246
満足度		3.458	0.98	5	全体平均値：3.232
ニーズ値		1.198	—	4	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	⑦		
	女	2	③		
年齢別	若年層	2	⑪		
	壮年層	1	④		
	高年層	3	③		
職業別	会社員	1	⑥		
	自営業	3	⑨		
	公務員	7	⑪		
	農林水産業	8	17		
	パート	2	④		
	専業主婦	4	④		
	学生	6	⑥		
	無職	5	③		
その他	—	⑪			
地区別	新城・柁原地区	5	14		
	垂水地区	4	⑥		
	水之上・大野地区	3	⑤		
	協和地区	2	④		
	牛根地区全域	1	①		
居住年数別	5年未満	3	⑭		
	5～10年	2	④		
	10～20年	1	⑥		
	20年以上	4	④		
特記事項	●重要度が2位、満足度が5位、ニーズ値が4位と高い結果となった。地区別で牛根地区全域が高く、新城・柁原地区が低いなど差異がある。				
自由意見	●自由意見記入件数 18 件／課題 5 件・評価 3 件・要望 9 件・その他 1 件 ●キーワード：防災無線に関する意見が多い。避難所等の要望も9件あった。				
平成21年度実施分との比較	●評価エリアがC→Aになり、満足度の低下、ニーズ値が上がるなど成果が見られない。				
評価結果	●東日本大震災の影響もあり、重要度及びニーズ値が高く、評価エリアがC→Aとなった。様々な取り組みを行っているが、今後、よりニーズ把握を行うなどの対応が望まれる。				

■政策別分析結果

13. 安心安全な地域社会の構築

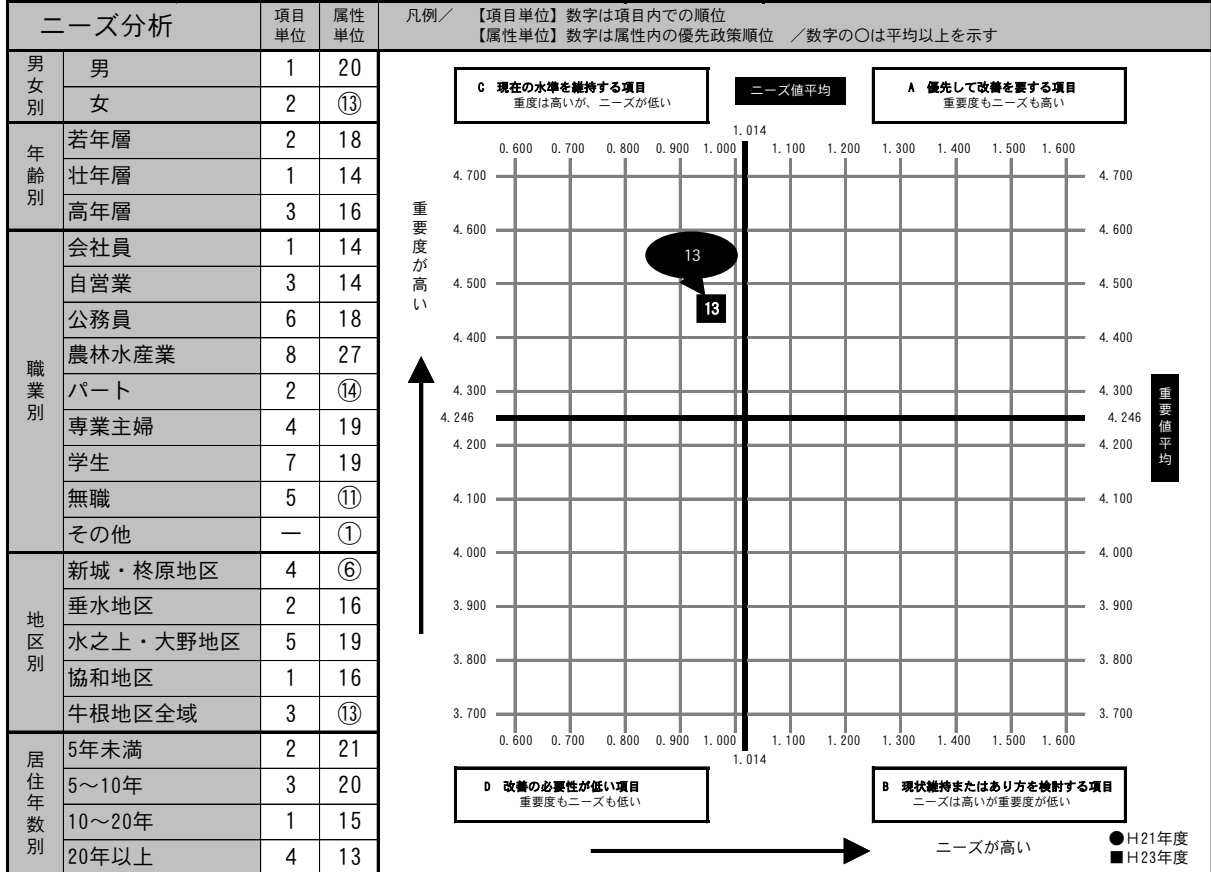
【政策の概要】

目標の考え方	犯罪のない、安全で安心して生活できるまちづくりを進めるために、協働による地域ぐるみの防犯活動の推進、消防機能や各種市民相談体制の充実など、安全で安心して生活できるまちづくりに取り組みます。特に、高齢者に関わる犯罪や事故を未然に防止するため、高齢者を取り巻く社会環境の整備などに取り組みます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全対策事業 ●相談関連事業 ●狂犬病予防事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●消防本部及び消防団車両整備事業 ●生活衛生苦情処理事業 ●火葬場維持管理事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.462	0.66	5	全体平均値：4.246
満足度	3.480	0.89	3	全体平均値：3.232
ニーズ値	0.982	—	13	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●重要度が5位、満足度が3位となっている。男女別、地区別で差異が見られる。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 10 件／課題 4 件・要望 5 件・その他 1 件 ●キーワード：防犯に対する意見が多い。
平成21年度実施分との比較	●ニーズ値の相対順位は上がっているが満足度は前回に引続き3位であり一定の成果が認められる。
評価結果	●評価エリアがCであり、取組に対して一定の評価があると思われるので、引続き現在の水準を維持するよう取組む。

■政策別分析結果

14. 快適な都市基盤の整備

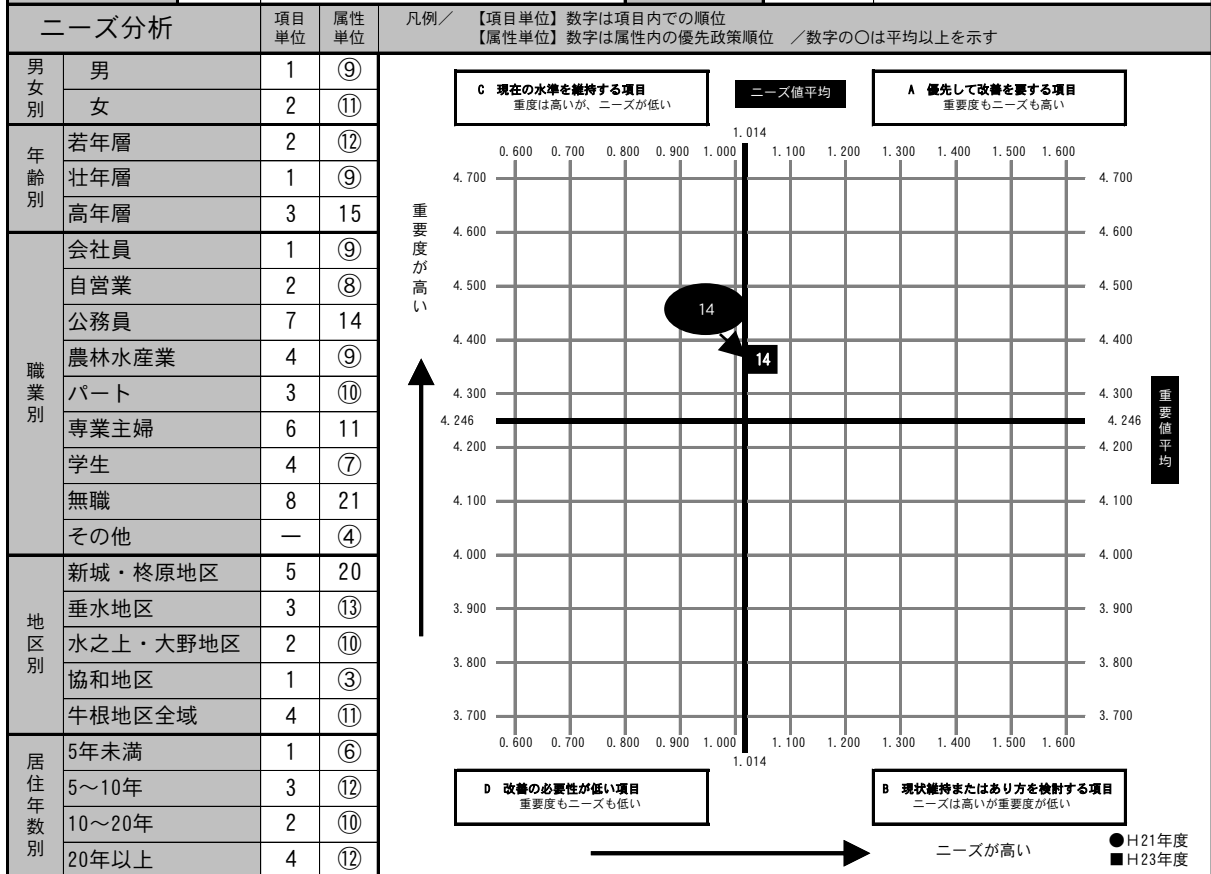
【政策の概要】

目標の考え方	道路や住宅、公園などの都市基盤は、市民が快適な生活を営むとともに、経済活動や交流の活性化など、都市の発展の礎となる重要な役割を果たすものです。都市の発展の基本となる道路・交通体系などの基盤整備と市民生活に密着した居住環境の整備を進める必要があります。このような都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランを策定し、効率的・計画的な都市基盤の整備に努めます。また、水道は市民生活における重要なライフラインのひとつであり、経済活動や社会的な活動を支える非常に大切な施設でもあります。今後も市民の皆様々に「安心」な水を「安定」して「継続」的に供給できるよう努めていきます。		
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●総合交通対策事業 ●公営住宅維持管理事業 ●水質検査事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路改良事業 ●公園等管理事業 ●降灰除去事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●市道等整備及び道路維持事業 ●都市計画関連事業 ●橋梁長寿命化事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備 考
重要度	4.387	0.71	9	全体平均値：4.246
満足度	3.327	0.98	8	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.059	—	10	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●地区別で協和地区が高く、新城・柘原地区が低いなど差異が見られる。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 16 件／課題 2 件・評価 1 件・要望 11 件・その他 2 件 ●キーワード：基盤整備や維持管理に係る意見が多かった。
平成21年度実施分との比較	●評価エリアがC→Aになり、満足度の低下、ニーズ値が上がるなど成果が見られない。
評価結果	●満足度が低下し、ニーズ値が上がり、評価エリアもAであるため、優先的に改善に取り組む必要がある。

■政策別分析結果

15. 循環型社会の構築

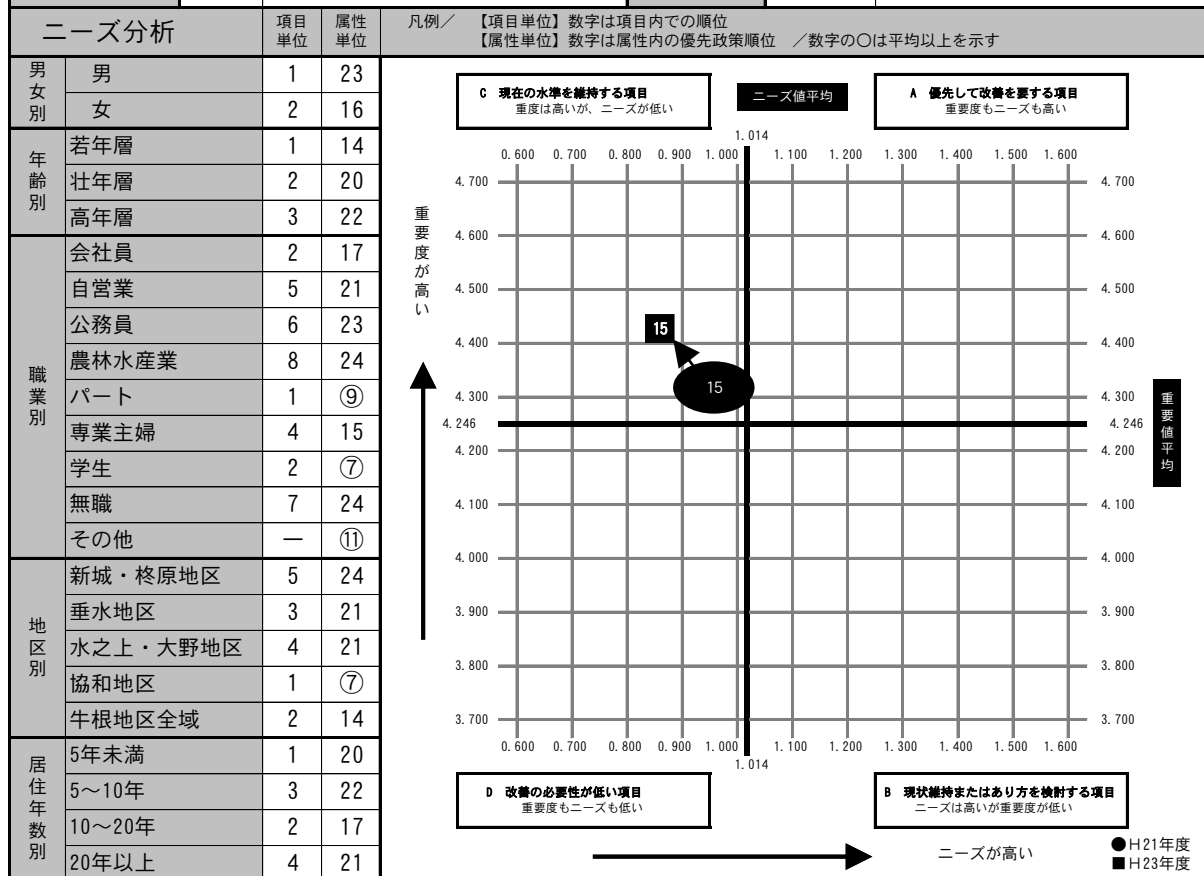
【政策の概要】

目標の考え方	地球規模の温暖化に対して、特に温暖化の最たる要因である温室効果ガス削減が重要な課題です。本市においては、廃棄物の26分別収集や新エネルギーに対する取り組みを進めています。より一層の成果を上げるためにも、地域省エネルギー政策、新エネルギー政策の充実と3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの循環型社会構築に対して、市民総ぐるみで理解を深め、行動していけるよう取り組みます。 ※3R=Reduce/リデュース：廃棄物の発生抑制・Reuse/リユース：再使用・Recycle/リサイクル：再資源化
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●肝属一般廃棄物処理組合負担金 ●粗大ゴミ処理業務 ●垂水市清掃センター維持管理 ●垂水市地球温暖化防止実行計画推進事業 ●ゴミ分別業務 ●一般廃棄物収集（可燃・不燃・資源物）

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.407	0.75	6	全体平均値：4.246
満足度	3.522	0.98	2	全体平均値：3.232
ニーズ値	0.885	—	21	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●満足度が全体の2位となった。地区別では協和地区が高く差異が見られる。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 22 件／課題 6 件・評価 5 件・要望 11 件 ●キーワード：収集日、分別に関する意見が多い。要望も11件と多い。
平成21年度実施分との比較	●満足度の数値、相対順位が上がり、ニーズ値が低下したことから事業成果が認められる。
評価結果	●満足度の向上から一定の事業成果が見え、評価エリアがCであることから、引続き現在の水準を維持していくよう取り組む。

■政策別分析結果

16. 環境の保全

【政策の概要】

目標の考え方	次世代へ環境を引き継いでいくために環境美化意識の向上や河川や海の環境保全に努め、水質保全などに取り組みます。また、桜島、錦江湾、高隈山系などの自然景観や田園風景さらには市街地や歴史的町並みなどの景観の保全と創造に向けて、市民や事業者と一体となった垂水にしかない景観形成に取り組みます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●景観保全政策事業 ●錦江湾クリーンアップ作戦事業 ●ごみの不法投棄防止等事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●浄化槽設置整備事業 ●潮彩町排水処理施設 ●環境基本計画策定事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.262	0.78	12	全体平均値：4.246
満足度		3.339	0.87	7	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.923	—	20	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	18		
	女	2	18		
年齢別	若年層	3	21		
	壮年層	2	21		
	高齢層	1	12		
職業別	会社員	1	15		
	自営業	6	26		
	公務員	8	25		
	農林水産業	2	8		
	パート	3	20		
	専業主婦	5	23		
	学生	7	15		
	無職	4	9		
	その他	—	18		
地区別	新城・柘原地区	5	23		
	垂水地区	3	18		
	水之上・大野地区	1	11		
	協和地区	2	13		
居住年数別	5年未満	1	22		
	5～10年	3	18		
	10～20年	2	19		
	20年以上	4	15		
特記事項	●満足度の相対順位が7位と高いがニーズ値の相対順位は低い。また、職業別において農林水産業は高いが公務員、自営業が低く差異がみられる。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 18 件／課題 7 件・評価 1 件・要望 8 件・その他 2 件 ●キーワード：不法投棄に関する意見が多く、要望も8件あった。 				
平成21年度実施分との比較	●評価エリアがA→C、ニーズ値が低下したことから事業成果が認められる。				
評価結果	●評価エリアがCであり事業成果が認められるため、引続き現在の水準を維持する取組を行う。				

■政策別分析結果

17. 地域資源の活用

【政策の概要】

目標の考え方	豊かな自然環境、景観、温泉、農水産物や歴史、文化など垂水市の持つ優れた地域資源を最大限に活用した観光や産業の振興に取り組みます。また、行政と市民と事業者が一体となって育むブランド化に取り組み、本市の価値を創造し、積極的に広く内外へ情報発信していく取り組みを進めます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●農村女性活動支援事業 ●地域資源活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●食と農交流推進事業 ●宮脇公園整備事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.179	0.79	16	全体平均値：4.246
満足度		3.253	0.88	11	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.926	—	19	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	16		
	女	2	20		
年齢別	若年層	3	23		
	壮年層	2	23		
	高齢層	1	⑩		
職業別	会社員	1	13		
	自営業	6	27		
	公務員	5	18		
	農林水産業	2	⑩		
	パート	7	23		
	専業主婦	3	17		
	学生	8	26		
	無職	4	15		
	その他	—	④		
地区別	新城・柘原地区	5	25		
	垂水地区	4	20		
	水之上・大野地区	3	17		
	協和地区	1	⑩		
	牛根地区全域	2	⑥		
居住年数別	5年未満	1	⑧		
	5～10年	2	⑫		
	10～20年	3	25		
	20年以上	4	19		
特記事項	●地区別で牛根地区全域が6位、新城・柘原地区が25位、また、居住年数別で5年未満が8位、10年～20年が25位となるなど差異が見られる。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 19 件／課題 7 件・評価 2 件・要望 8 件・その他 2 件 ●キーワード：地域資源を活かした観光、民泊等の意見があり、ごみ問題等もあった。 				
平成21年度実施分との比較	●相対評価がⅣ→Ⅲになり、満足度の向上が見られる。				
評価結果	●評価エリアはDであるため、現状の取組を行う。なお、本政策は本市基本理念の一つであることから、その周知を図るなど、周知・広報に力を入れる。				

■政策別分析結果

18. 魅力ある農林業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	生産・生活基盤の整備をはじめ、経営の安定や環境にやさしい農業の推進など、特色ある農業の展開を図るとともに、担い手育成に努めます。また、消費者ニーズの把握に努めながら、地域の特性を生かした特産品や加工品の開発を促進するとともに、流通ルートの創出に取り組みます。さらに、特産品直売施設の整備や地産地消の推進に努めます。林業については、森林と人との共生の観点に立った森林の保全利用を図ります。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間地域等直接支払事業 ●戸別所得補償モデル対策事業 ●新規就農者支援事業 ●間伐実施事業 ●森林整備地域活動支援事業 ●茶産地整備事業 ●担い手育成支援事業 ●農家経営安定対策事業 ●農業振興地域整備計画 ●活動火山周辺地域防災営農対策事業 ●中山間地域総合整備事業 ●農地・水環境保全向上対策支援事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.003	0.89	24	全体平均値：4.246
満足度		3.130	0.84	19	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.873	—	22	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	19		
	女	2	23		
年齢別	若年層	2	19		
	壮年層	1	17		
	高齢層	3	23		
職業別	会社員	4	21		
	自営業	1	16		
	公務員	3	⑪		
	農林水産業	2	⑦		
	パート	8	26		
	専業主婦	5	20		
	学生	6	15		
	無職	7	22		
	その他	—	⑪		
地区別	新城・柘原地区	4	13		
	垂水地区	1	19		
	水之上・大野地区	5	25		
	協和地区	3	26		
	牛根地区全域	2	18		
居住年数別	5年未満	2	18		
	5～10年	1	⑤		
	10～20年	3	26		
	20年以上	4	22		
特記事項		●職業別で農林水産業が高く、それ以外が低いなど差異が見られる。また、居住年数別で5～10年が高いなど差異が見られる。			
自由意見		●自由意見記入件数 11 件／課題 10 件・評価 1 件 ●キーワード：後継者や担い手に関する意見が多かった。			
平成21年度実施分との比較		●特に大きな変化は見られないが、重要度の順位が9ランク下がっている。			
評価結果		●評価エリアはDであるが、より高く効率的な事業成果が得られるよう取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

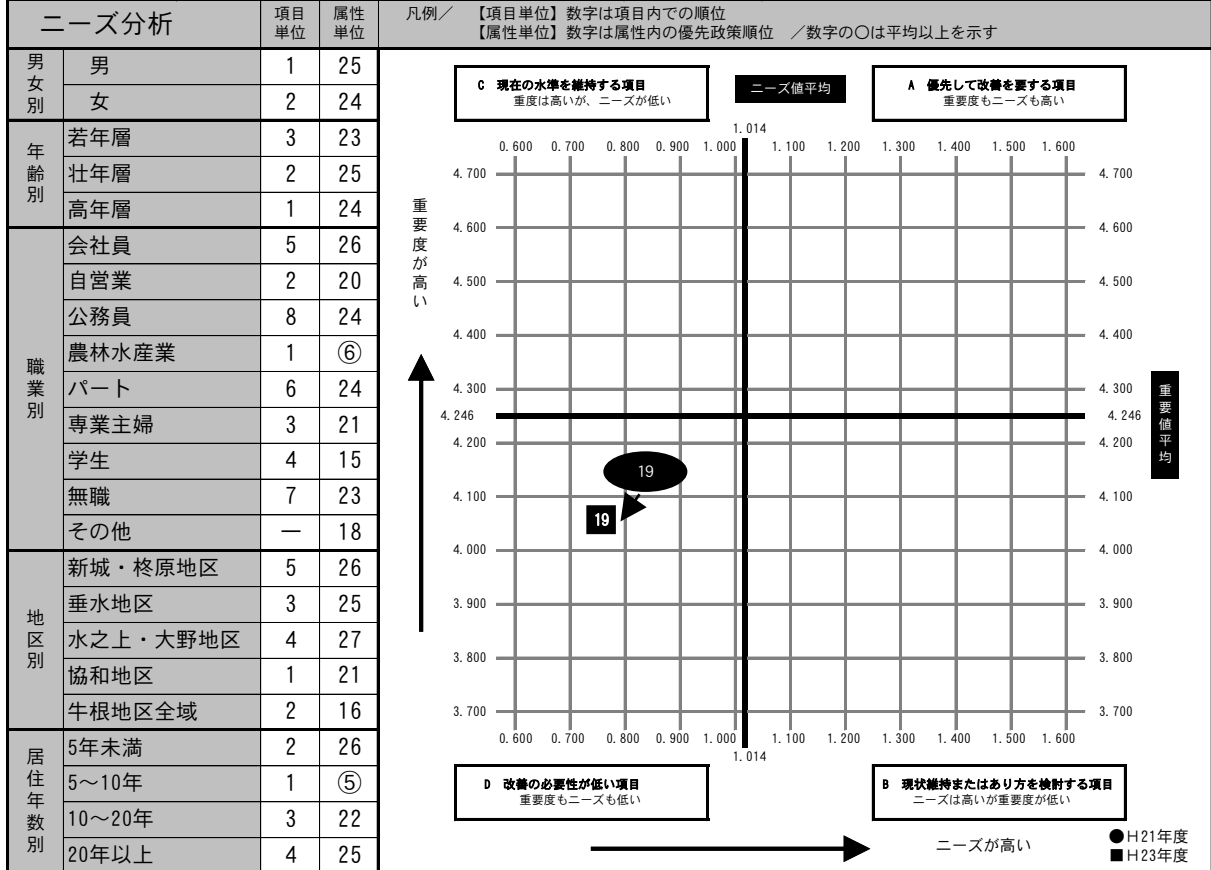
19. 魅力ある水産業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	水産業の振興を図るために、漁業生産の基盤となる漁港・漁場環境の整備を進めます。また、消費者ニーズの把握に努めるとともに、地産地消の推進や水産物のブランド化による新たな販売ルートの確保など、経営安定化と後継者の育成に努めます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●海面環境保全事業 ●垂水南漁港地域水産基盤整備事業 ●海潟漁港広域漁港整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元水産物販売促進事業 ●種苗放流事業 ●藻場造成事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.079	0.88	21	全体平均値：4.246
満足度	3.298	0.80	9	全体平均値：3.232
ニーズ値	0.782	—	25	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目



特記事項	●職業別で農林水産業が高く、それ以外が低いなど差異が見られる。また、居住年数別で5～10年が高いなど差異が見られる。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 14 件／課題 5 件・評価 2 件・要望 7 件 ●キーワード：後継者や事業に対する意見、食育などの意見もあった。
平成21年度実施分との比較	●満足度の相対順位が上がり、相対評価がⅣ→Ⅲとなったことから、事業成果が認められる。
評価結果	●評価エリアはDであるが、より高く効率的な事業成果が得られるよう取り組む必要がある。

■政策別分析結果

20. 活気ある商工業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	市民の日常的な利便性の確保を図ることを基本に、垂水にあった商業のあり方やサービスを展開し、多様化・高度化する消費者ニーズに対応できる商業の育成や振興に取り組みます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 商工会振興資金利子補給事業 ● 商工会運営事業 ● 商工関連イベント支援事業 ● スポーツ合宿誘致事業 ● 道の駅活性化事業 ● 中心市街地活性化事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.081	0.86	20	全体平均値：4.246
満足度		3.044	0.96	24	全体平均値：3.232
ニーズ値		1.037	—	12	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア B 現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	⑫		
	女	2	⑩		
年齢別	若年層	1	④		
	壮年層	2	⑪		
	高年層	3	⑲		
職業別	会社員	3	⑫		
	自営業	5	⑪		
	公務員	1	②		
	農林水産業	8	⑲		
	パート	4	⑬		
	専業主婦	6	⑩		
	学生	2	②		
	無職	7	⑳		
その他	—	⑦			
地区別	新城・柘原地区	5	⑲		
	垂水地区	1	⑤		
	水之上・大野地区	4	⑱		
	協和地区	2	⑪		
	牛根地区全域	3	⑱		
居住年数別	5年未満	1	③		
	5～10年	2	⑧		
	10～20年	4	⑳		
	20年以上	3	⑪		
特記事項	●年齢別では若年層が、職業別では公務員が、地区別で垂水地区で、居住年数別では5年未満がそれぞれ高く差異が見られる。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 25 件／課題 17 件・評価 1 件・要望 6 件・その他 1 件 ●キーワード：理念的な意見が多い。企業誘致に対する意見もあった。 				
平成21年度実施分との比較	●評価エリアがD→Bであり、重要度、満足度の相対順位が下位であることから成果がみられない。				
評価結果	●評価エリアがBであり、満足度が24位と低いことから、あり方を検討する必要がある。				

■政策別分析結果

21. 働く環境の充実

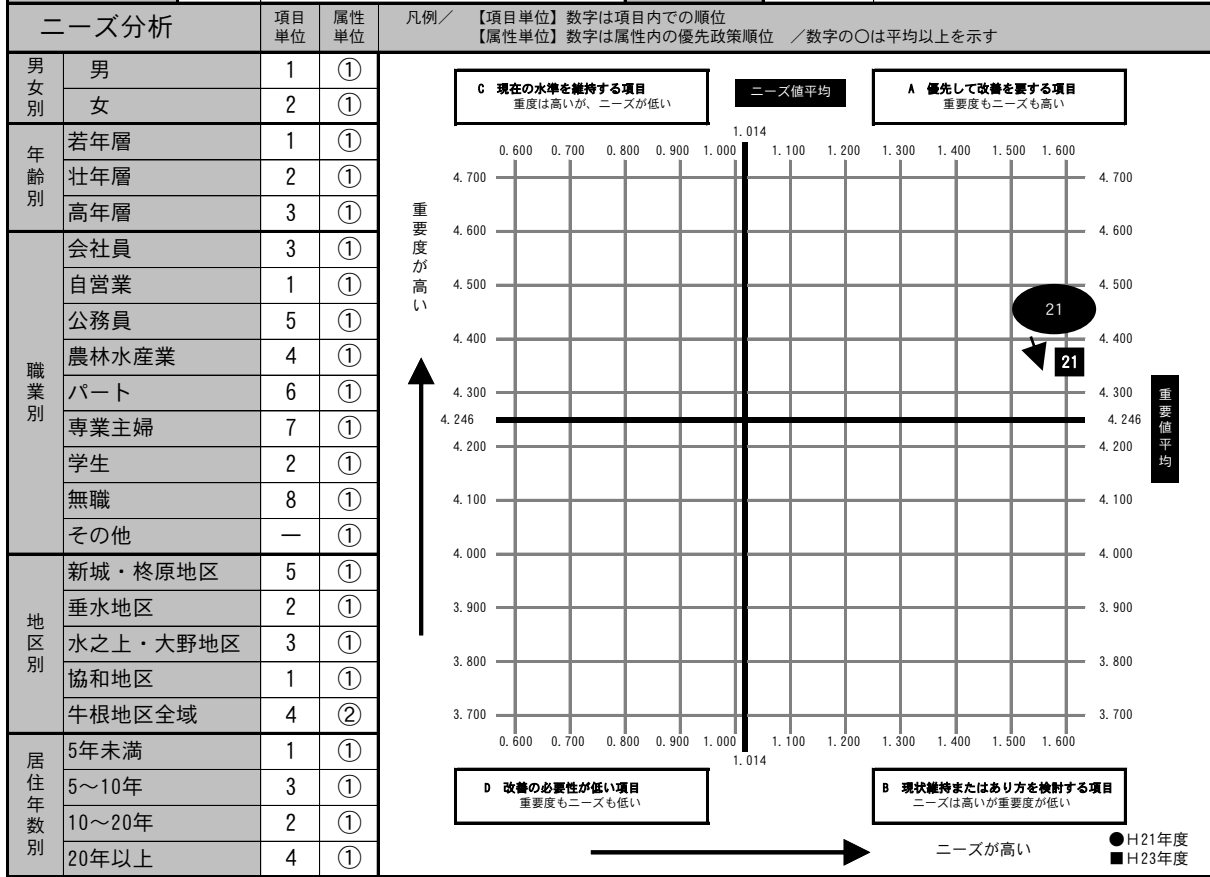
【政策の概要】

目標の考え方	既存の産業の振興に努めながら、コミュニティビジネス等の新たな産業の育成や、時代のニーズに合った新たな起業家の育成に取り組みます。また、企業誘致や創業支援による働く場の確保を行います。	
主な取り組み	●雇用創出関連事業 ●ふるさと雇用創出事業	●雇用推進事業 ●緊急雇用創出事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.389	0.81	7	全体平均値：4.246
満足度	2.789	1.07	27	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.600	—	1	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	----	------------------	-------	---	--------------



特記事項	●満足度が27位（最下位）となり、ニーズ値が1位となっている。ほぼ全ての階層で優先順位が1位となっている。
自由意見	●自由意見記入件数 21 件／課題 11 件・要望 10 件 ●キーワード：雇用環境、企業誘致に関する意見が多く、要望も10件となった。
平成21年度実施分との比較	●満足度、ニーズ値の順位が前回に引続き同じ結果となり成果が見られない。
評価結果	●評価エリアがA、満足度が最下位、ニーズ値が1位という結果は、2年連続であることを踏まえ、根本的な課題を解決していくという認識のもとで最優先で取り組んでいく必要がある。

■政策別分析結果

22. 魅力ある観光の振興

【政策の概要】

目標の考え方	垂水市の持つ観光拠点の整備開発を進め、年間を通じて市民や観光客が楽しめる魅力ある観光地づくりや観光情報の発信に取り組みます。また、観光推進体制の確立を図り、大隅半島の玄関口という地理的特性を生かした広域観光への取り組みに努めます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●しおかぜ街道整備事業 ●高峠公園整備事業 ●猿ヶ城溪谷総合整備事業 ●ツーリズム推進事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.058	0.95	23	全体平均値：4.246
満足度		3.095	0.95	23	全体平均値：3.232
ニーズ値		0.964	—	14	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	2	22	<p>● 現在の水準を維持する項目 (重要度は高いが、ニーズが低い)</p> <p>● ニーズ値平均</p> <p>● 優先して改善を要する項目 (重要度もニーズも高い)</p> <p>● 改善の必要性が低い項目 (重要度もニーズも低い)</p> <p>● 現状維持またはあり方を検討する項目 (ニーズは高いが重要度が低い)</p> <p>● H21年度 (黒丸)</p> <p>■ H23年度 (黒角)</p>	
	女	1	⑫		
年齢別	若年層	3	20		
	壮年層	2	19		
	高年層	1	⑧		
職業別	会社員	3	20		
	自営業	1	⑩		
	公務員	7	22		
	農林水産業	6	17		
	パート	2	16		
	専業主婦	5	22		
	学生	8	22		
	無職	4	⑥		
その他	—	15			
地区別	新城・柘原地区	5	17		
	垂水地区	4	22		
	水之上・大野地区	1	②		
	協和地区	2	22		
牛根地区全域	3	15			
居住年数別	5年未満	1	16		
	5～10年	4	24		
	10～20年	2	18		
	20年以上	3	14		
特記事項	●年齢別で高年層、地区別で水之上・大野地区が高く差異が見られる。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 26 件／課題 7 件・評価 4 件・要望 13 件・その他 2 件 ●キーワード：観光拠点、観光施設に関する意見が多い。意見の半数は要望が占めている。 				
平成21年度実施分との比較	●ニーズ値の相対順位が下がり、評価エリアがB→Dになっていることから成果が認められる。				
評価結果	●評価エリアはD、重要度、満足度ともに低いが、九州新幹線の開通もあり、本市にとっても観光行政は重要であることから、あり方を検討する必要がある。				

■政策別分析結果

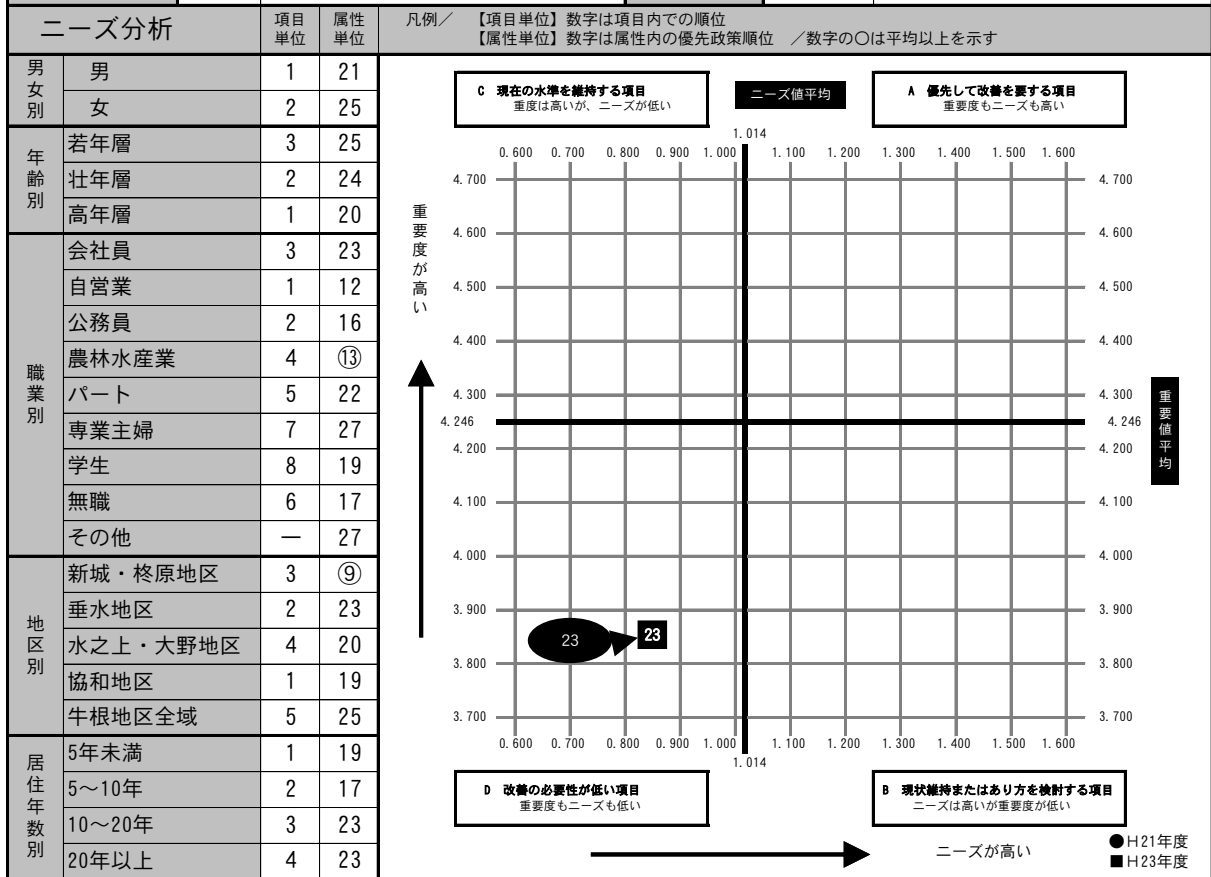
23. 市民参画による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	協働によるまちづくりの実現に向けて、市政の様々な場面で市民の参加と参画機会を十分に提供するとともに、市民と行政や議会との適切な役割分担のもと、相互の信頼関係が構築され、相互に支えあう協働の行政経営に取り組みます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●第4次垂水市総合計画関連事業 ●自治基本条例制定事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	3.863	0.89	27	全体平均値：4.246
満足度	3.012	0.76	25	全体平均値：3.232
ニーズ値	0.851	—	23	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目



特記事項	●地区別において、新城・柁原地区が高いなど差異が見られる。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 8 件／課題 5 件・その他 3 件 ●キーワード：わからない。意味がないという意見が見受けられる。※自由意見の数が少ない。
平成21年度実施分との比較	●特に大きな変化は見られない。
評価結果	●評価エリアはDであり、重要度、満足度、ニーズ値及びほとんどの階層で低い数値であるが、本市基本理念の一つであることから在り方を検討する必要がある。

■政策別分析結果

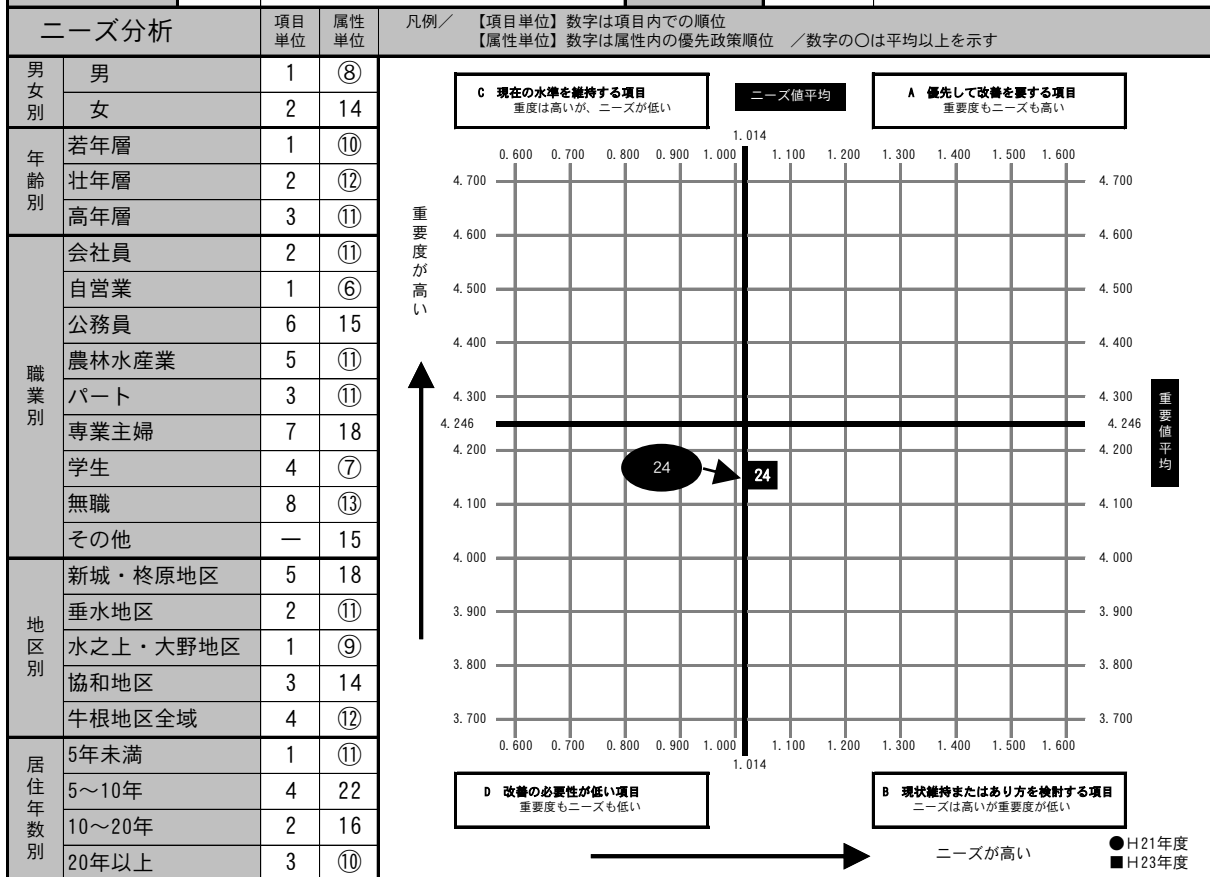
24. 市民の目線による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	市民の目線に立ち、積極的に分かりやすい情報提供をするとともに市民ニーズを的確に把握し、真に必要なとされるサービスの提供を行います。	
主な取り組み	●広聴事業 ●分かりやすく、必要な情報の提供関連事業	●広報事業 ●定住促進事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.162	0.83	17	全体平均値：4.246
満足度	3.120	0.94	21	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.042	—	11	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア B 現状維持またはあり方を検討する項目



特記事項	●職業別で自営業、地区別で水之上・大野地区が高いなど差異が見られる。
自由意見	●自由意見記入件数 13 件 / 課題 8 件・評価 2 件・要望 2 件・その他 1 件 ●キーワード：広報に関する意見が多い。
平成21年度実施分との比較	●ニーズ値の相対順位が上がり、評価エリアがD→Bになったことから成果が認められない。
評価結果	●評価エリアはB、ニーズ値の相対順位が上がったこともあり、あり方を検討する必要がある。

■政策別分析結果

25. 市民の期待に応える職員の育成

【政策の概要】

目標の考え方	住民ニーズはますます高度化、多様化しており、価値観やライフスタイルの多様化も顕著になっている現在、時代の変化に適応した新たな行政施策の展開が求められています。徹底した行政改革の推進、健全財政の維持、職員の定員管理についても適正化を進めてきており、最小の経費で最大の効果が上がるよう、さらに効率的な行政運営を進めていく必要があります。そのため、行政の担い手となる職員の意欲や姿勢の改革、職務能力の一層の向上を図り、組織としても積極的に人材育成の取組を強化していきます。	
主な取り組み	●人事評価制度事業 ●職員研修事業	●定員適正化事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.226	0.93	14	全体平均値：4.246
満足度		2.895	1.03	26	全体平均値：3.232
ニーズ値		1.332	—	2	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア B 現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	②		
	女	2	④		
年齢別	若年層	2	⑥		
	壮年層	1	③		
	高年層	3	②		
職業別	会社員	2	③		
	自営業	1	②		
	公務員	4	④		
	農林水産業	6	②		
	パート	3	③		
	専業主婦	7	⑨		
	学生	8	22		
	無職	5	②		
その他	—	⑥			
地区別	新城・柘原地区	4	③		
	垂水地区	1	②		
	水之上・大野地区	3	⑫		
	協和地区	2	⑥		
居住年数別	5年未満	3	⑩		
	5～10年	4	⑪		
	10～20年	1	④		
	20年以上	2	②		
特記事項	●満足度が26位、ニーズ値が2位となった。ほとんどの階層で高い順位になり、平均値以上となった。				
自由意見	●自由意見記入件数 29 件／課題 18 件・評価 1 件・要望 9 件・その他 1 件 ●キーワード：職員数や職員の待遇・人材育成に関する意見が多い。				
平成21年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値が上がったことから成果が認められない。				
評価結果	●評価エリアはBであるが、満足度が低くニーズ値が高いことから、ニーズ把握を行うなど満足度が上がる取組を優先的に行う必要がある。また自由意見に職員の待遇・人材育成に関する意見も多いことから対処、改善が必要である。				

■政策別分析結果

26. 行政改革の推進

【政策の概要】

目標の考え方	地方分権時代において、自治体としての自立と自己責任による行政経営が求められるとともに、市政の運営を担う行政には、将来にわたって、永続的に市民から信頼され、その負託に応えていくという大きな責務が課せられています。このため、行政改革大綱に基づき、「新しい公共」の形成を理念として、持続可能な財政基盤を確立するとともに、徹底した行政改革を推進することにより、市民や地域の力が最大限に発揮できる新しい形の行政経営を進めます。また、真の地方主権の確立に向けた権限の移譲を求め、国・県との対等な関係を構築するとともに、近隣市町との連携のもと広域的な行政課題の解決に取り組みます。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●行政改革関連事業 ●行政評価関連事業 ●大隅地区広域行政に関する事業 ●電算システム更新事業

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.082	0.88	19	全体平均値：4.246	
満足度		3.149	0.83	18	全体平均値：3.232	
ニーズ値		0.933	—	18	全体平均値：1.014 ※ニーズ値＝重要度－満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す		
男女別	男	1	14			
	女	2	21			
年齢別	若年層	3	22			
	壮年層	1	15			
	高年層	2	17			
職業別	会社員	4	19			
	自営業	2	18			
	公務員	7	21			
	農林水産業	1	⑤			
	パート	5	21			
	専業主婦	3	13			
	学生	8	22			
	無職	6	19			
その他	—	⑧				
地区別	新城・柘原地区	5	12			
	垂水地区	2	17			
	水之上・大野地区	1	13			
	協和地区	3	23			
	牛根地区全域	4	20			
居住年数別	5年未満	2	24			
	5～10年	4	27			
	10～20年	1	⑦			
	20年以上	3	17			
特記事項	●職業別で農林水産業、居住年数別で10～20年が高く差異が見られる。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 6 件／課題 4 件・要望 1 件・その他 1 件 ●キーワード：理念的な意見が多い。※自由意見の数が少ない。 					
平成21年度実施分との比較	●特に大きな変化は見られない。					
評価結果	●評価エリアはDであることから、現状の取り組みを進めていく。					

■政策別分析結果

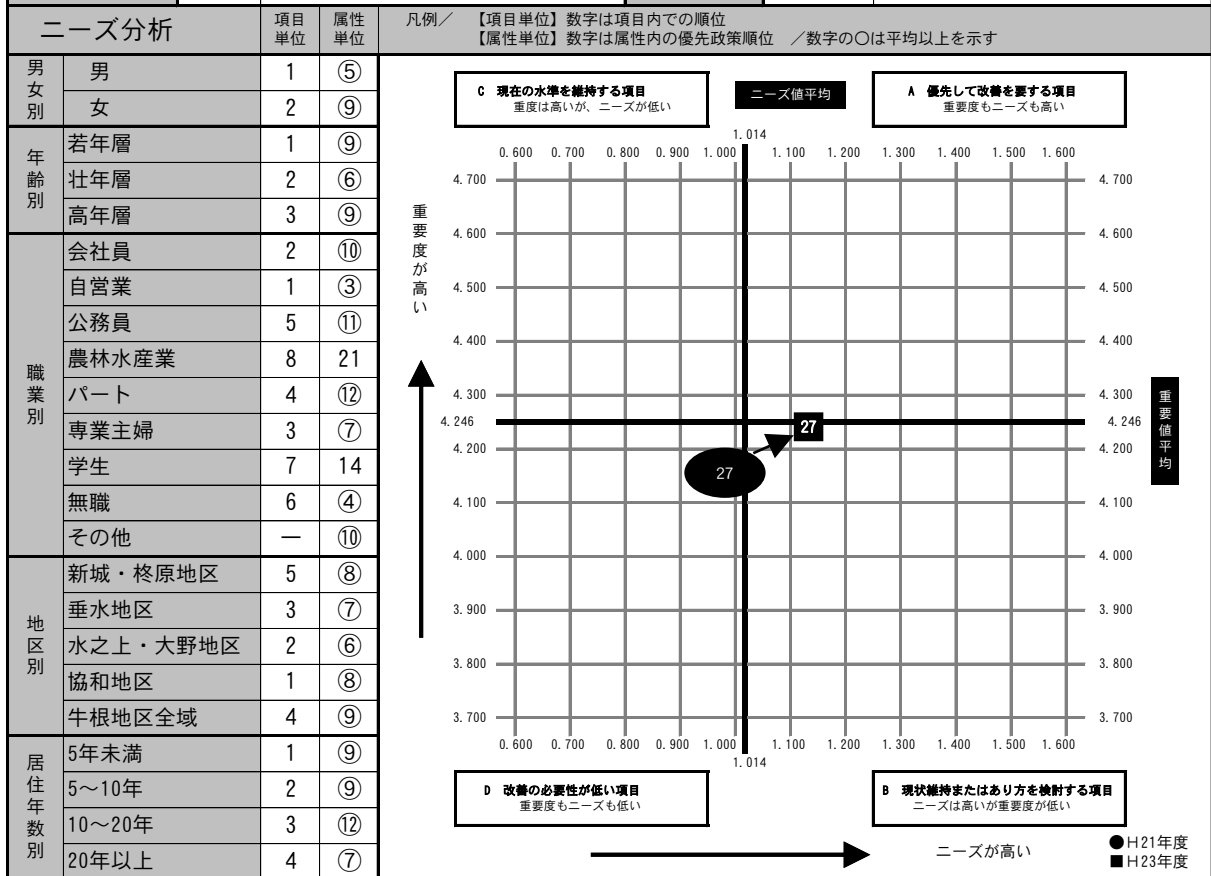
27. 財政運営の健全化

【政策の概要】

目標の考え方	健全な財政基盤を確立するためには、財政の自由度を高めると共に、真に必要なとされるサービスを選択することが重要です。このため、自らの責任において、財源を確保し、市民の納得度を高めていくという視点で必要とされる公共サービスを常に効果的・効率的かつ安定的に供給できるという持続可能な財政運営に努めます。	
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●財政運営健全化事業 ●財政改革プログラム進行管理事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●財産管理事業 ●徴収対策事業

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.243	0.83	13	全体平均値：4.246
満足度	3.128	0.86	20	全体平均値：3.232
ニーズ値	1.116	—	8	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア B 現状維持またはあり方を検討する項目



特記事項	●満足度が20位と低く、ニーズ値が8位と高い。ほとんどの階層で高い順位にあり、平均値以上となっている。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自由意見記入件数 8 件 / 課題 3 件・要望 2 件・その他 3 件 ●キーワード：わからないという意見や納税に関する意見があった。※自由意見の数が少ない
平成21年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値の相対順位が上がり、評価エリアがD→Bになったことから成果が認められない。
評価結果	●評価エリアはB、満足度が低く、ニーズ値が高いので、成果が高まるような取り組みを行う必要がある。

■政策別分析結果

■27政策 評価エリア集合図

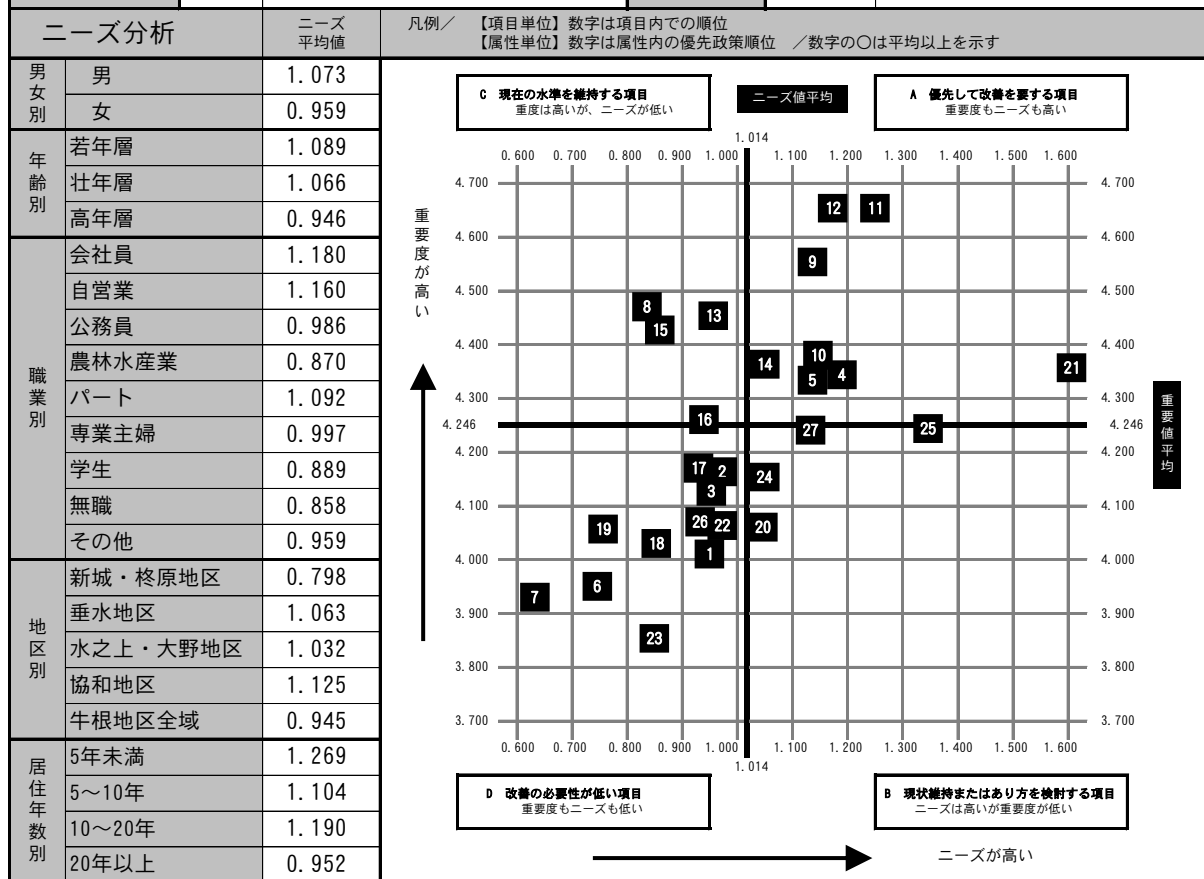
【政策の概要】

目標の考え方	—
主な取り組み	—

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	—	—	—	全体平均値：4.246
満足度	—	—	—	全体平均値：3.232
ニーズ値	—	—	—	全体平均値：1.014 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	—	no	評価エリア	—	no
------	---	----	-------	---	----



特記事項 ●評価エリアAが8計画、Bが4計画、Cが4計画、Dが11計画という結果になった。平成21年度（エリアA7計画、B2計画、C5計画、D13計画）

自由意見 ●自由意見記入件数 498 件／課題 215 件・評価 47 件・要望 162 件・その他 74 件
●キーワード：各計画で取組の情報提供を求めるものがあつた。市役所に対する要望等も162件となり約33%を占めている。

平成21年度実施分との比較 ●前回と比べ、評価エリアはAが1計画、Bが2計画増え、Cが1計画、Dが2計画減少している。このことから、「優先して改善を要する項目」と「現状維持またはあり方を検討する項目」の割合が約33%から約44%を上がっている。

評価結果 ●評価エリアCとDの合計が15となり、現在の水準を維持する項目、改善の必要が低い項目が全体の約55%を占めたことにより計画に対して一定の評価があると思われるが、評価エリアAが8計画となり全体の約30%が優先して改善を要する項目となっている。評価エリアAの政策を改善する取組を行う必要がある。

3. 第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析結果

重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	基本目標・重点目標	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価エリア
		平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差	平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差		重要度－満足度	相対順位	
	全回答（全体平均）	4.246				3.232					1.014		
◎基本目標別													
1	住民による住民のためのまちをつくる	4.138	-0.109	3	0.86	3.207	-0.025	2	0.86	IV	0.931	4	D
2	安心して暮らせるまちをつくる	4.516	0.270	1	0.66	3.430	0.198	1	0.98	I	1.086	1	A
3	環境と経済が共生し、循環していくまちをつくる	4.183	-0.064	2	0.85	3.183	-0.049	3	0.95	IV	1.000	3	D
4	市民を大切にするまちをつくる	4.116	-0.130	4	0.88	3.061	-0.171	4	0.89	IV	1.055	2	B
●重点目標別													
1-1	自立した地域をつくるために	4.123	-0.123	6	0.86	3.168	-0.064	5	0.87	IV	0.955	6	D
1-2	学びあえる地域をつくるために	4.149	-0.098	5	0.86	3.236	0.004	4	0.86	III	0.913	7	D
2-1	生きがいを持ち、健康に暮らすために	4.527	0.280	1	0.66	3.436	0.204	1	1.00	I	1.090	1	A
2-2	暮らしの安全を守るために	4.502	0.256	2	0.66	3.422	0.190	2	0.95	I	1.080	2	A
3-1	自然と共生していくために	4.283	0.037	3	0.78	3.372	0.140	3	0.92	I	0.911	8	A
3-2	経済が持続発展していくために	4.123	-0.124	7	0.89	3.070	-0.162	7	0.94	IV	1.053	4	B
4-1	市民から信頼される行政経営のために	4.085	-0.162	8	0.90	3.009	-0.223	8	0.92	IV	1.076	3	B
4-2	無駄のない行政経営のために	4.163	-0.084	4	0.86	3.138	-0.094	6	0.85	IV	1.024	5	B

凡例

◎相対評価

- I : 重要度・満足度とも平均値より高い項目
- II : 重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- III : 重要度の平均値は低い、満足度の平均値は高い項目
- IV : 重要度・満足度とも平均値より低い項目

◎評価エリア

- A : 重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- B : ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- C : 重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- D : 重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

4. 今後の居住志向

前回の調査に引き続き、設問28に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。

集計結果については、次のとおりである。

(1) 回答状況

	5： 思う	4： どちらかといえ ばそう思う	3： どちらともいえ ない	2： どちらかといえ ばそう思わない	1： 思わない
回答者数	174件	60件	57件	24件	18件
回答割合	52.3%	18.0%	17.1%	7.2%	5.4%

(2) 回答者属性別の集計結果

	項目	平均値	標準 偏差	順位
男女別	男	3.954	1.26	2
	女	4.105	1.18	1
年齢別	若年層	3.469	1.18	3
	壮年層	3.598	1.31	2
	高年層	4.428	0.98	1
職業別	会社員	3.607	1.22	8
	自営業	4.250	1.30	4
	公務員	3.950	0.92	5
	農林水産業	4.400	0.97	2
	パート	3.761	1.24	7
	専業主婦	3.909	1.29	6
	学生	3.000	1.10	9
	無職	4.390	1.08	3
	その他	4.625	0.99	1

	項目	平均値	標準 偏差	順位
地区別	新城・柊原地区	4.058	1.16	2
	垂水地区	4.012	1.26	3
	水之上・大野地区	4.361	0.97	1
	協和地区	3.964	1.45	4
	牛根地区全域	3.869	1.13	5
居住年数別	5年未満	3.645	1.26	2
	5～10年	3.231	1.05	4
	10～20年	3.594	1.30	3
	20年以上	4.166	1.17	1

全体平均	標準偏差
4.045	1.21

※順位は項目カテゴリ内（男女別、年齢別等）の順位

(3) 自由意見記入状況

自由意見は合計195人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。【「ある（5・4・3を選択）132人」「ない（3・2・1を選択）63人」】

○居住志向についての代表的な意見（195人）

主な理由	5	4	3	2	1	未記入	合計
生まれ育ったまちだから	24	7				1	32
ふるさとだから	8	3					11
住みやすいから	20	5					25
自然環境がよいから	8	2					10
家・土地があるから	2	1				1	4
その他（思う理由）	36	13	1				50
雇用について			10	1	3		14
医療について			1	1	1		3
その他（思わない理由）			21	15	10		46
計	98	31	33	17	14	2	195

(4) 評価・分析まとめ

(1)の回答状況より、今後の居住志向について「ある（5・4を選択）」とした人が、合計234人（70.3%）、「ない（2・1を選択）」とした人が、合計42人（12.6%）という結果になり、本市に住み続けたいという人が7割いるという結果となった。

(2)は回答者属性別の平均値を算出し、属性項目ごとの傾向や項目カテゴリ内の差異の検証を行った。

はじめに、評価者全体の数値であるが、平均値は4.045、標準偏差は1.21となった。

次に項目カテゴリ内において、その属性項目ごとの傾向をチェックする。

まず、男女別では男女の開きが0.151ポイントとなり女性は居住志向が強いことがわかる。年齢別では「高年層」と「若年層」の開きが0.959ポイントとなり「高年層」の居住志向が強い。

職業別では最もポイントの高かった「その他」と最も低かった「学生」では1.625ポイントもの差があった。

地区別では最も高かった「水之上・大野地区」と最も低かった「牛根地区全域」の開きが0.492ポイント、居住年数別では「20年以上」と「5年～10年」の開きが0.935ポイントであった。

このように男女別・地区別は大きな開きがないが、年齢別・職業別・居住年数別では、約1ポイント以上の開きがあった。

(3)の自由意見の回答状況から、居住志向がある回答者のキーワードとしては「生まれ育ったまち」「住みやすいから」という意見が多く、中には「家、土地がある」「自然環境がよい」という意見も見られた。

居住志向がない回答者のキーワードとしては「雇用について」「医療について」などの意見が上げられ、中には「将来性がない」「税金が高い」といった意見もみられた。

まとめとして、本市では、居住志向は約7割と非常に高い数値となり、上記に記載したように居住志向が強い項目は、現状の取組を維持していくことで今後も、本市に住み続けていただけると考える。なお、(3)から居住志向がない回答者のキーワードを上記に上げているが、これらのことが項目別の重要な理由づけとなっているためなんらかの取組を行う必要がある。

5. 平成23年度市民満足度調査総括

平成23年度の市民満足度調査では、「2. 政策別分析結果」で政策ごとに評価分析を行い、今後の施策推進のための方向性等を示し、「4. 今後の居住志向」では、回答者属性別の分析を行った。

ここでは、総括として、上記の結果から優先し重点化して取り組んでいく政策についてまとめる。

なお、政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

(1) 全体分析における政策評価（平成23年度市民満足度調査分）

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

このニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

	政策名	ニーズ値	重要度の順位／満足度の順位（降順）
1	21. 働く環境の充実	1.600	重要度7位／満足度27位（1位）
2	25. 市民の期待に応える職員の育成	1.332	重要度14位／満足度26位（2位）
3	11. 医療体制の充実	1.269	重要度1位／満足度6位（22位）
4	12. 地域防災対策の推進	1.198	重要度2位／満足度5位（23位）
5	4. 子育て支援体制の充実	1.191	重要度10位／満足度16位（12位）
6	10. 障害者保健福祉の推進	1.147	重要度8位／満足度12位（16位）
7	5. 学校教育の充実	1.134	重要度11位／満足度15位（13位）
8	27. 財政運営の健全化	1.116	重要度13位／満足度20位（8位）
9	9. 高齢者保健福祉の推進	1.110	重要度3位／満足度4位（24位）
10	14. 快適な都市基盤の整備	1.059	重要度9位／満足度8位（20位）

(2) 平成21年度及び平成23年度市民満足度調査との比較

今回のアンケート結果と平成21年度実施分との満足度およびニーズ値を視点とした比較により、各政策の成果確認を行った。基本的に「満足度」が増加したもの、もしくは「ニーズ値」が減少したものを成果が確認できたもの、反対に「満足度」が減少したもの、もしくは「ニーズ値」が増加したものは、成果が確認できなかったものとしている。なお、重要度については、成果確認の対象とはしていないが、最終的な評価結果をまとめる上で参考としている。

① 重要度

重要度の平均値は、平成21年度と比較し0.065ポイント低下した。政策別にみると平均値が上がった政策が5政策、下がった政策は22政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが11政策、下がったものが9政策、変動なしが7政策となった。

重要度の数値が大きく伸びた政策の上位3政策は次のとおりである。

- [1] 27. 財政運営の健全化
- [2] 17. 地域資源の活用
- [3] 15. 循環型社会の構築

② 満足度

満足度の平均値は、平成21年度と比較し0.098ポイント低下した。政策別にみると平均値が上がった政策が2政策、変わらなかった政策が1政策、下がった政策が24政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが12政策、下がったものが11政策、変動なしが4政策となった。

改善された政策（満足度の数値が伸びたもの）及び改善が見られない政策（満足度の数値が減少したもの）の上位3政策は次のとおりである。

【改善された政策】

- [1] 15. 循環型社会の構築
- [2] 11. 医療体制の充実
- [3] 19. 魅力ある水産業の振興

【改善が見られない政策】

- [1] 12. 地域防災対策の推進
- [2] 7. 地域文化の促進・保護・活用
- [3] 1. 共生・協働による地域づくりの推進

③ ニーズ値

ニーズ値の平均値は、平成21年度と比較し0.034ポイント上昇した。政策別にみると平均値が上がった政策が17政策、下がった政策が10政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが11政策、下がったものが13政策、変動なしが3政策となった。

改善された政策（ニーズ値の数値が増加したもの）及び改善が見られない政策（ニーズ値の数値が減少したもの）の上位3政策は次のとおりである。

【改善された政策】

- [1] 16. 環境の保全
- [2] 11. 医療体制の充実
- [3] 4. 子育て支援体制の充実

【改善が見られない政策】

- [1] 12. 地域防災対策の推進
- [2] 25. 市民の期待に応える職員の育成
- [3] 24. 市民の目線による行政経営

④ 相対評価

相対評価は、前回に比べⅠが1政策、Ⅳが3政策減少し、Ⅱが1政策、Ⅲが3政策増加した。

⑤ 評価エリア

評価エリアは、前回に比べAが1政策、Bが2政策増え、Cが1政策、Dが2政策減少した。

(3)平成21年度市民満足度調査重点化3政策の検証

平成21年度重点化の3政策について、次のとおり検証を行った。

① 4. 子育て支援体制の充実

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H23	4.379	10	3.188	16	1.191	5	Ⅱ	A
H21	4.599	4	3.336	12	1.263	3	Ⅰ	A
差	-0.220	-6	-0.148	-4	-0.072	-2		

(2)の③ニーズ値において、相対的に改善が図られている結果となっているが、依然として相対順位は高い。また、上の表のとおり、満足度の数値及び相対順位が下がって

おり、相対評価もⅠ→Ⅱになるなど、成果が確認できない結果となった。

② 11. 医療体制の充実

	重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H23	4.676	1	3.408	6	1.269	3	Ⅰ	A
H21	4.752	1	3.371	9	1.382	2	Ⅰ	A
差	-0.076	0	0.037	3	-0.113	-1		

上の表のとおり、評価エリアはAであるが、満足度の数値が改善され、相対順位も上がっていることから、一定の事業成果が認められる結果となった。

③ 21. 働く環境の充実

	重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H23	4.389	7	2.789	27	1.600	1	Ⅱ	A
H21	4.423	10	2.825	27	1.598	1	Ⅱ	A
差	-0.034	3	-0.036	0	0.002	0		

上の表のとおり、重要度の相対順位が上がっており、満足度、二一ズ値とも相対順位が改善がされないことから、成果が認められない結果となった。

(4) まとめ～平成23年度市民満足度調査から見える優先し重点化して取り組む政策～

これらの結果から、第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」に掲げた基本目標ごとに優先し取り組む政策を2政策ずつ掲げ、また、全体として特に重点化し取り組むべき政策を4政策掲げる。

基本構想「施策の大綱」名	基本計画の政策名	重点化
基本目標1 住民による住民のためのまちをつくる	4. 子育て支援体制の充実	◎
	5. 学校教育の充実	
基本目標2 安心して暮らせるまちをつくる	11. 医療体制の充実	
	12. 地域防災対策の推進	◎
基本目標3 環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	17. 地域資源の活用	
	21. 働く環境の充実	◎
基本目標4 市民を大切にすまちをつくる	24. 市民の目線による行政経営	
	25. 市民の期待に応える職員の育成	◎